# 2025 年度
# 公益財団法人日本体操協会
# 事業報告書

## 目次

公益財団法人日本体操協会は 2025 年度下記事業を行いました。


| | |
|---|---|
| 1 2025 年度事業報告 | 定款第4条第1項 1 号 |
| 委員会報告 | |
| 2 ハイパフォーマンスディレクター | 定款第4条第1項 3 号 4 号 5 号 7 号 |
| 3 体操男子強化本部 | 定款第4条第1項 3 号 4 号 5 号 7 号 |
| 4 体操女子強化本部 | 定款第4条第1項 3 号 4 号 5 号 7 号 |
| 5 新体操強化本部 | 定款第4条第1項 3 号 4 号 5 号 7 号 |
| 6 トランポリン男子強化本部 . | 定款第4条第1項 3 号 4 号 5 号 7 号 |
| 7 トランポリン女子強化本部 | 定款第4条第1項 3 号 4 号 5 号 7 号 |
| 8 審判委員会 | 定款第4条第1項 2 号 6 号 11 号 13 号 15 号 |
| 9 大会プロモーション委員会 | 定款第4条第1項 6 号 9 号 17 号 |
| 10 コーチ育成委員会 | 定款第4条第1項 10 号 |
| 11 安全環境委員会 | 定款第4条第1項 1 号 4 号 8 号 |
| 12 情報医科学アンチ・ドーピング委員会 | 定款第4条第1項 6 号 7 号 8 号 12 号 |
| 13 総務委員会 | 定款第4条第1項 4 号 12 号 13 号 14 号 18 号 |
| 14 男子新体操委員会 | 定款第4条第1項 6 号 7 号 8 号 12 号 |
| 15 Gymnastics for All 委員会 | 定款第4条第1項 6 号 8 号 10 号 |
| 16 パルクール委員会 | 定款第4条第1項 6 号 7 号 8 号 12 号 |
| 17 トランポリン委員会 | 定款第4条第1項 6 号 7 号 8 号 12 号 |
| 18 器械器具委員会 | 定款第4条第1項 14 号 |
| 19 広報委員会 | 定款第4条第1項 2 号 4 号 15 号 |
| 20 国際事業委員会 | 定款第4条第1項 2 号 4 号 15 号 |
| 21 コンプライアンス委員会 | 定款第4条第1項 1 号 4 号 8 号 |

# 2025年度 （公財）日本体操協会事業報告

| 月 | 日 | 曜 | ～ | 月 | 日 | 曜 | 種 | 大会名 | 場所 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **2025** | | | | | | | | | |
| 4 | 17 | 木 | ～ | 4 | 20 | 日 | 体 | 体操天皇杯　第79回全日本体操個人総合選手権 | 高崎アリーナ |
| 4 | 18 | 金 | ～ | 4 | 20 | 金 | パ | 第6回パルクール日本選手権予選＆ネクストジェン予選 | ひろしまゲートパーク |
| 5 | 15 | 木 | ～ | 5 | 18 | 日 | 体 | 第64回NHK杯体操 | 東京体育館 |
| 5 | 17 | 土 | ～ | 5 | 18 | 日 | ト | 第12回全日本トランポリン競技年齢別選手権大会 | ヤマト市民体育館前橋 |
| 5 | 23 | 金 | ～ | 5 | 25 | 日 | 新 | 第23回全日本新体操ユースチャンピオンシップ<br>第16回男子新体操団体選手権大会 | 高崎アリーナ |
| 6 | 5 | 木 | ～ | 6 | 8 | 日 | 体 | 第12回アジア体操競技選手権大会・第18回アジアジュニア体操競技選手権大会（男子） | 韓国・堤川市 |
| 6 | 12 | 木 | ～ | 6 | 15 | 日 | 体 | 第12回アジア体操競技選手権大会・第18回アジアジュニア体操競技選手権大会（女子） | 韓国・堤川市 |
| 6 | 14 | 土 | ～ | 6 | 15 | 日 | ト | 第23回全日本タンブリング・ダブルミニトランポリン競技選手権大会 | 静岡産業大学 第2スポーツセンター |
| 6 | 18 | 水 | ～ | 6 | 22 | 日 | 新 | 第3回世界ジュニア新体操選手権大会 | ブルガリア・ソフィア |
| 6 | 28 | 土 | ～ | 6 | 29 | 日 | ト | 第38回世界トランポリン競技選手権大会・第31回世界トランポリン年齢別競技大会最終選考会 | 静岡産業大学 第2スポーツセンター |
| 7 | 17 | 木 | ～ | 7 | 19 | 土 | 新 | 2025世界ユニバーシティゲームズ（新体操） | ドイツ・ラインルール |
| 7 | 22 | 火 | ～ | 7 | 26 | 土 | 体 | 2025世界ユニバーシティゲームズ（体操競技） | ドイツ・ラインルール |
| 7 | 22 | 火 | ～ | 7 | 26 | 土 | G | 第5回World Gym for Life Challenge | ポルトガル・リスボン |
| 7 | 24 | 木 | ～ | 7 | 27 | 日 | 新 | 第33回全日本新体操クラブ選手権 | ALSOKぐんまアリーナ |
| 8 | 1 | 金 | ～ | 8 | 3 | 日 | ト | 第11回全日本トランポリン競技ジュニア選手権大会 | いしかわ総合スポーツセンター／金沢市 |
| 8 | 2 | 土 | ～ | 8 | 5 | 火 | 体 | 令和7年度全国高等学校総合体育大会　体操競技大会 | 島根県立体育館（竹本正男アリーナ）/島根県 |
| 8 | 7 | 木 | ～ | 8 | 17 | 日 | トエパ | 2025ワールドゲームズ | 中国・成都チェンドゥ |
| 8 | 8 | 金 | ～ | 8 | 10 | 日 | 新 | 令和7年度全国高等学校総合体育大会　新体操大会 | J:COMアリーナ下関（下関市総合体育館）/山口県 |
| 8 | 11 | 月 | ～ | 8 | 13 | 水 | 新 | 第25回 全日本新体操クラブ団体選手権 | ALSOKぐんまアリーナ |
| 8 | 12 | 火 | ～ | 8 | 17 | 日 | 体 | 2025全日本ジュニア体操競技選手権大会,東西決勝大会 | 日環アリーナ栃木 |
| 8 | 19 | 火 | ～ | 8 | 22 | 金 | 体 | 第79回全日本学生体操競技選手権大会 | 青森県立武道会館 |
| 8 | 20 | 水 | ～ | 8 | 24 | 日 | 新 | 第41回世界新体操選手権大会 | ブラジル・リオデジャネイロ |
| 8 | 23 | 土 | ～ | 8 | 24 | 日 | 体 | 第56回全国中学校体育大会（体操競技） | 長崎県・長崎市 |
| 8 | 24 | 日 | ～ | 8 | 25 | 月 | 新 | 第56回全国中学校体育大会（新体操） | 佐賀県・佐賀市 |
| 8 | 25 | 月 | ～ | 8 | 27 | 水 | 新 | 第77回全日本学生新体操選手権大会 | 高崎アリーナ |
| 9 | 6 | 日 | ～ | 9 | 7 | 月 | 新 | 第79回国民スポーツ大会（新体操） | 滋賀ダイハツアリーナ/大津市 |
| 9 | 6 | 土 | | | | | 体 | 第58回全日本シニア体操競技選手権大会 | エスフォルタアリーナ八王子 |
| 9 | 7 | 日 | | | | | 体 | 第3回男子体操種目別メダリスト選手権大会 | エスフォルタアリーナ八王子 |
| 9 | 9 | 火 | ～ | | | | ト | 第79回国民スポーツ大会（トランポリン） | 滋賀ダイハツアリーナ/大津市 |
| 9 | 12 | 金 | ～ | 9 | 15 | 月 | 体 | 第79回国民スポーツ大会（体操競技） | 滋賀ダイハツアリーナ/大津市 |
| 9 | 19 | 金 | ～ | 9 | 21 | 日 | 新 | 第33回全日本男子新体操社会人選手権大会、第10回全日本男子新体操クラブ選手権大会、2025マスターズRGレディース、2025グループコンテスト | 岐阜メモリアルセンター |
| 9 | 20 | 土 | ～ | 9 | 21 | 日 | 体 | 第58回　全日本マスターズ体操競技選手権大会 | 上越市ジムリーナ |
| 10 | 19 | 日 | ～ | 10 | 25 | 土 | 体 | 第53回世界体操競技選手権大会 | インドネシア・ジャカルタ |
| 10 | 9 | 木 | ～ | 10 | 13 | 祝月 | 新 | 2025イオンカップ世界新体操クラブ選手権 | 東京体育館 |
| 10 | 11 | 土 | ～ | 10 | 13 | 祝月 | パ | 第6回パルクール日本選手権＆ネクストジェン2025 | livedoor URBAN SPORTS PARK（東京・有明） |
| 10 | 18 | 土 | ～ | 10 | 19 | 日 | ト | 第62回全日本トランポリン競技選手権大会 | ナースパワーアリーナ／熊本市 |
| 11 | 6 | 木 | ～ | 11 | 9 | 日 | ト | 第38回世界トランポリン競技選手権大会 | スペイン・パンプローナ |
| 11 | 7 | 金 | ～ | 11 | 9 | 日 | 新 | 第78回全日本新体操選手権大会 | 高崎アリーナ |
| 11 | 13 | 木 | ～ | 11 | 16 | 日 | 体 | 第79回全日本体操団体選手権、種目別選手権 | 高崎アリーナ |
| 11 | 16 | 日 | | | | | G | 2025日本体操祭 ＆ Japan Challenge | 国立代々木競技場第一体育館 |
| 11 | 20 | 木 | ～ | 11 | 24 | 月 | 体 | 第3回世界ジュニア体操競技選手権大会 | フィリピン・マニラ |
| 11 | 23 | 日 | ～ | 11 | 24 | 祝月 | 体 | 2025第20回全国ブロック選抜U-12体操競技選手権大会 | 高崎アリーナ |
| 11 | 28 | 金 | ～ | 11 | 30 | 日 | 新 | 第43回全日本ジュニア新体操選手権大会 | アリーナ立川立飛 |
| 12 | 1 | 月 | | | | | 新 | 2025全日本ジュニア新体操チャレンジカップ | アリーナ立川立飛 |
| 12 | 5 | 金 | ～ | 12 | 7 | 日 | ト | 2025川崎トランポリンジャパンオープン | 川崎　とどろきアリーナ |
| 12 | 22 | 月 | | | | | 全 | 2025 体操ニッポン GALA　-Over The Border-　Supported by Y.G.S | 大田区総合体育館 |
| | | | | | | | | | |
| **2026** | | | | | | | | | |
| 2 | 26 | 木 | ～ | 3 | 1 | 日 | 新 | 第27回 全日本新体操チャイルド選手権・第24回全日本新体操キッズコンテスト | 高崎アリーナ |
| 3 | 7 | 土 | ～ | 3 | 8 | 日 | ト | 第12回全日本タンブリング・ダブルミニトランポリン競技年齢別選手権大会 | 磐田市アミューズ豊田 |
| 3 | 20 | 金 | ～ | 3 | 22 | 日 | 新 | 第41回全国高等学校新体操選抜大会 | セーレンドリームアリーナ/福井市 |
| 3 | 24 | 火 | ～ | 3 | 25 | 水 | 体 | 第42回全国高等学校体操競技選抜大会 | ホワイトリング/長野市 |
| 3 | 28 | 土 | ～ | 3 | 29 | 日 | 体 | 第25回全日本体操小学生大会 | まるたか観光アリーナ（笠松運動公園体育館） |
| | | | | | | | | | |

※日程は原則として開会式、会議、練習など、競技以外の日程を除いています。

ハイパフォーマンスディレクター/強化報告・強化方針



ハイパフォーマンスディレクター
水鳥寿思

**A. 2025 年度の取り組み報告（HPD として実施した事項）**

1. 強化戦略
・強化本部会・選考会議等への参加および助言
・強化本部長会議の設置
・全種別合同研修の企画・立案(2 月 15 日実施予定)
・アスリートパスウェイ構築のための取り組み

2. 人事
・コーチ設置事業委嘱者の検討・配置
・強化本部長・ナショナルコーチ等との面談実施
・種別横断スタッフ（医科学・サポートスタッフ）の配置
・新体操強化本部 GM 業務担当

3. 財務
・種別評価制度の立案・運用開始
・協会独自財源の運用検討・配分
・スポンサー候補者から強化資金獲得(2000 万円/年の寄付獲得)
・強化事業予算の執行状況の透明化のシステム検討・構築

4. 外部連携
・スポンサー候補者との関係構築(リスト化・壮行会等への招待)
・協働コンサルテーション及び個別折衝等への参加および要望
・JSC 担当者との連携(助成金ルールや器具購入等の確認)
・JOC との相談・連携(大会情報や提出物等の確認)

5. 強化活動
・各種大会等への視察・参加
・強化合宿等への視察・参加
・JISS・NTC を主拠点とした選手および指導者等との日常的コミュニケーション

**B. 2026 年度 活動計画**

**① 2026 年度の達成目標**

- 各種別における競技目標の達成
- 強化本部を支えるサポート体制の構築

**② 戦略課題（現状と目標達成に向けた課題）**

強化本部を支える体制整備や、強化本部運営に必要となる知見共有がこれまで十分ではなかった。
2025 年度は本部長会議の開始をはじめ、サポート体制構築に向けた各種取り組みを試行的に実施した。
2025 年度に明らかになった課題や、未着手の取り組みも含め、2026 年度にはアクションプランとして体系的に実行し、円滑かつ持続可能な強化活動を実現する体制を構築する。

**③ 課題解決に向けた戦略および実行計画（アクションプラン）**

・種別評価制度の運用
・横断スタッフサポート体制の浸透
・本部長会議・全体研修等の横断的取り組みの継続
・ナショナルコーチおよびスタッフ振り返り制度の構築・運用
・インテグリティ教育計画作成・運用
・アスリートパスウェイの策定・公表
・助成金制度の最大活用

**④ 計画・実施・検証・見直しのプロセス（目標達成度の可視化）**

**■ 計画**

各アクションプランにおける実施計画と KPI を設定する。

**■ 実施**

計画に基づき、各強化本部長および事務局と連携しながら遂行する。

**■ 検証**

当初設定したスケジュールと KPI に基づき、進捗および成果を検証する。

**■ 見直し**

検証結果を踏まえ、必要に応じてリソース配分の調整や計画の更新を行う。

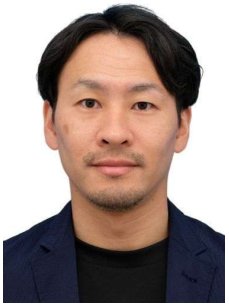
**⑤ 年間スケジュール**

各種別の事業計画を踏まえ、年度内に年間スケジュールを策定する。

⑥ 2026 年度活動(強化)方針

1.全種別の競技力向上と成果創出に資する支援体制を強化する。
オリンピックをはじめとする主要国際大会において、全種別が最大限の成果を獲得できるよう、協会横断のリソースと専門性を効果的に活用する。
2.協会内外の知見を体系的に収集・活用し、強化施策の質を高める。
国内外の指導理論、医科学サポート、運営ノウハウ等を整理・共有し、強化本部が実行しやすい形で提供する。
3.組織として持続可能な強化体制を構築する。
人材育成、財源確保、環境整備を計画的に進め、次世代に継承可能な強化基盤を整える。
4.関係者が安心して活動に取り組める協働環境を整備する。
指導者・選手・スタッフが互いに尊重し合い、役割を果たしやすい運営体制を整えることで、より良い成果の創出につなげる。

# 男 子 体 操 強 化 本 部



男子体操競技強化本部長
村田憲亮

A. 2025 年度の事業報告

| 事業細目名 | 対象 | 事業名 | 実施場所 | 期間 |
|---|---|---|---|---|
| チーム派遣 | ナショナル | 第 12 回アジア体操選手権大会 | 韓国 | 2025 年 6 月1日～2025 年 6 月 9 日 |
| 国内合宿 | ナショナル | 第 1 回ナショナル強化合宿 | NTC | 2025 年 6 月 17 日～2025 年 6 月 24 日 |
| 国内合宿 | ナショナル | 第 2 回ナショナル強化合宿 | NTC | 2025 年 7 月 2 日～2025 年 7 月 8 日 |
| チーム派遣 | ナショナル | 世界ユニバシティゲームズ | ドイツ ラインルール | 2025 年 7 月 15 日～2025 年 7 月 28 日 |
| チーム派遣 | ナショナル | WCC パリ大会 | フランス・パリ | 2025 年 9 月 10 日～2025 年 9 月 16 日 |
| 国内合宿 | ナショナル | 第 3 回ナショナル強化合宿 | NTC | 2025 年 9 月 28 日～2025 年 10 月 13 日 |
| チーム派遣 | ナショナル | 世界選手権大会 | インドネシア ジャカルタ | 2025 年 10 月 13 日～2025 年 10 月 26 日 |
| 国内合宿 | ナショナル | 第 4 回ナショナル強化合宿 | NTC | 2025 年 12 月 25 日～2025 年 12 月 27 日 |
| 国内合宿 | ナショナル | 第 5 回ナショナル強化合宿 | NTC | 2026 年 2 月 9 日～2026 年 2 月 15 日 |
| チーム派遣（実施予定） | ナショナル | WC コトブス大会 | ドイツ・コトブス | 2026 年 2 月 16 日～2026 年 2 月 24 日 |
| チーム派遣（実施予定） | ナショナル | WC バクー大会 | アゼルバイジャン バクー | 2026 年 3 月 2 日～2026 年 3 月 10 日 |
| チーム派遣（実施予定） | ナショナル | WC アンタルヤ大会 | トルコ・アンタルヤ | 2026 年 3 月 9 日～2026 年 3 月 17 日 |
| チーム派遣（実施予定） | ナショナル | DTB チームカップ | ドイツ シュツットガルト | 2026 年 3 月 16 日～2026 年 3 月 23 日 |
| 国内合宿（実施予定） | ナショナル | 第 6 回ナショナル強化合宿 | NTC | 2026 年 3 月 27 日～2026 年 3 月 31 日 |
| 国内合宿 | ジュニア | 第 1 回 U20 ナショナル合宿・トライアウト | NTC | 2025 年 8 月 29 日～2025 年 8 月31日 |
| 国内合宿 | ジュニア | 第 2 回 U20 ナショナル合宿 | NTC | 2025 年 10 月 18 日～2025 年 10 月 21 日 |
| 国内合宿 | ジュニア | 第 3 回 U20 ナショナル合宿・全日本団体選手権 | 群馬(高崎) | 2025 年 11 月 12 日～2025 年 11 月 14 日 |

男　子　体　操　強　化　本　部

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 国内合宿 | ジュニア | 第 4 回 U20<br>ナショナル合宿 | NTC | 2025 年 12 月 5 日～<br>2025 年 12 月 9 日 |
| 国内合宿 | ジュニア | 第 5 回 U20<br>ナショナル合宿 | NTC | 2026 年 1 月 14 日～<br>2026 年 1 月 18 日 |
| チーム派遣 | ジュニア | アジアジュニア選手権 | 韓国 | 2025 年 6 月 1 日～<br>2025 年 6 月 9 日 |
| 海外合宿<br>国際合宿 | ジュニア<br>（JOC） | 日韓交流事業 | 韓国<br>日本 | 2025 年 12 月 2 日～12 月 7 日<br>2025 年 12 月 10 日～12 月 15 日 |
| チーム派遣 | ジュニア | 第 3 回世界ジュニア<br>選手権 | フィリピン・マニラ | 2025 年 11 月 16 日～<br>2025 年 11 月 25 日 |
| チーム派遣」<br>（実施予定） | ジュニア | リューキン国際 | アメリカ | 2026 年 2 月 20 日～<br>2026 年 2 月 22 日 |
| 国内合宿<br>（実施予定） | ジュニア | ブロック合宿 | 徳島 | 2026 年 1 月 30 日～<br>2026 年 2 月 1 日 |

①　現状分析

2025 年度における国際競技会では、世界選手権個人総合の金メダル（橋本大輝）をはじめ、ユニバーシティゲームズ個人総合の金メダル（橋本大輝）銀メダル（川上翔平）を獲得した。アジア選手権個人総合では金メダル（岡慎之助）を獲得し、シニアで出場した主要国際大会すべてにおいて個人総合のタイトルを獲得した。団体総合においてもユニバーシティゲームズとアジア選手権においては金メダルを獲得した（世界選手権では団体総合の開催はなし）。種目別においては平行棒と鉄棒においてはいずれの国際大会においてもメダルを獲得している状況であるが、アジア選手権と世界選手権の結果を見ても平行棒と鉄棒以外ではメダルを獲得できていない。他の種目を含めた種目別でのメダル獲得を見据えた強化が今後必要となってくる。ジュニアにおいては世界ジュニア選手権において団体総合で銀メダルとなった。日本選手団もミスのない素晴らしい試合であったが、自力に勝る中国に競り負けたかたちである。また個人総合では AIN（ロシア）の選手がシニアに匹敵するレベルの競技力を持ち、個人総合では予選決勝ともに他を寄せ付けない形で金メダルを獲得した。今後シニアでも即戦力になることが予想される。さらにはアメリカやフランスもジュニアの育成が進んでおり、結果では優ったもののアメリカとは 0.100 点差、フランスとも 0.400 点差と競技レベルは肉薄している状況である。種目別でもロシア、アメリカ、中国、コロンビアといった上位国が金メダルを獲得している。日本は平行棒で 1 つの金メダルを獲得することはできたが各国のレベルが上がり容易にメダル獲得ができる状況ではなくなってきていると感じた。日本としてジュニア層への強化体制を更に充実させていく必要があり、ジュニアを含めた強化予算の獲得は急務と言える。

**<2025 年度結果報告>**

**第 18 回アジアジュニア・第 12 回アジア体操競技選手権大会（男子）**

＜シニア＞

団体総合：1 位　岡慎之助　長谷川毅　萱和磨　角皆友晴　藤巻竣平

個人総合：1 位岡慎之助　2 位長谷川毅

種目別：平行棒：1 位岡慎之助　2 位角皆友晴

　　鉄　棒：2 位角皆友晴

＜ジュニア＞

団体総合 1 位：小島埜和　落合遥生　横山大輝　谷田智治

個人総合 1 位：小島埜和　3 位谷田智治

男　子　体　操　強　化　本　部

種目別　ゆ　か:1位　小島埜和
　　あん馬:3 位　落合遥生
　　つり輪:2 位　横山大輝
　　平行棒:3 位　谷田智治
　　鉄　棒:1位　小島埜和　2 位　谷田智治

**2025FISU 世界ユニバーシティゲームズラインルール大会**
団体総合:1 位　岡慎之助　橋本大輝　川上翔平　長谷川毅　角皆友晴
個人総合:1 位　橋本大輝　2 位　川上翔平
種目別　ゆ　か:2 位　岡慎之助
　　あん馬:2 位　橋本大輝
　　つり輪:5 位　岡慎之助
　　跳　馬:6 位　川上翔平
　　平行棒:1 位　角皆友晴　2 位　岡慎之助
　　鉄　棒:2 位　橋本大輝　6 位　岡慎之助

**ワールドチャレンジカップ・パリ大会**
種目別　つり輪:2 位　金田希一
　　跳　馬:8 位　遠藤幹斗

**第 53 回世界体操競技選手権大会**
個人総合:1 位　橋本大輝　5 位岡慎之助
種目別　ゆ　か:8 位　南一輝
　　跳　馬:8 位　南一輝
　　平行棒:2 位　角皆友晴　6 位　岡慎之助
　　鉄　棒:2 位　橋本大輝　4 位　角皆友晴

**第 3 回世界ジュニア体操競技選手権大会**
団体総合:2 位　角谷太樹　小島埜和　安井栄絢
個人総合:2 位　小島埜和　15 位　角谷太樹
種目別:あん馬:3 位　小島埜和　8 位　安井栄絢
　　つり輪:6 位　小島埜和　7 位　安井栄絢
　　平行棒:1 位　小島埜和　6 位　角谷太樹
　　鉄　棒:4 位　安井栄絢　5 位　角谷太樹

**2026 オーガクラシックリューキンインビテーショナル（未実施）**

# 女　子　体　操　強　化　本　部



女子体操強化本部長

村上茉愛

A. 2025 年度事業報告

2025 年度事業実施計画

2025年度女子体操強化本部

年間活動計画(2025年4月～2025年9月)

2025年3月28日 金曜日

2025年 4月

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 火 | | |
| 2 | 水 | | |
| 3 | 木 | | |
| 4 | 金 | | |
| 5 | 土 | | |
| 6 | 日 | | |
| 7 | 月 | | |
| 8 | 火 | | |
| 9 | 水 | | |
| 10 | 木 | | |
| 11 | 金 | | |
| 12 | 土 | | |
| 13 | 日 | | |
| 14 | 月 | | |
| 15 | 火 | | |
| 16 | 水 | | |
| 17 | 木 | ↑ | |
| 18 | 金 | 全日本個人総合 | |
| 19 | 土 | 高崎アリーナ | |
| 20 | 日 | ↓ | |
| 21 | 月 | | |
| 22 | 火 | | |
| 23 | 水 | | |
| 24 | 木 | | |
| 25 | 金 | | |
| 26 | 土 | | |
| 27 | 日 | | |
| 28 | 月 | | |
| 29 | 火 | | |
| 30 | 水 | | |

ナショナル合宿

ジュニア合宿

5月

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 木 | | |
| 2 | 金 | | |
| 3 | 土 | | |
| 4 | 日 | | |
| 5 | 月 | | |
| 6 | 火 | | |
| 7 | 水 | | |
| 8 | 木 | | |
| 9 | 金 | | |
| 10 | 土 | | |
| 11 | 日 | | |
| 12 | 月 | | |
| 13 | 火 | | |
| 14 | 水 | | |
| 15 | 木 | ↑ | |
| 16 | 金 | NHK杯 | |
| 17 | 土 | 東京体育館 | |
| 18 | 日 | ↓ | |
| 19 | 月 | | |
| 20 | 火 | | |
| 21 | 水 | | |
| 22 | 木 | | |
| 23 | 金 | 東インカレ | |
| 24 | 土 | 熊谷 | |
| 25 | 日 | | |
| 26 | 月 | | |
| 27 | 火 | | |
| 28 | 水 | | |
| 29 | 木 | | |
| 30 | 金 | | |
| 31 | 土 | | |

6月

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 日 | | | |
| 2 | 月 | | | |
| 3 | 火 | | | |
| 4 | 水 | メディカルチェック(ユニバ) | | |
| 5 | 木 | 第1回ナショナル合宿 | 第1回ジュニア合宿 | 男子 |
| 6 | 金 | アジアシニア | アジアジュニア | アジアジュニア |
| 7 | 土 | ユニバ6/7まで | 世界ジュニア 6/7まで(自費自由… | アジアシニア |
| 8 | 日 | ↓ | ↓ | |
| 9 | 月 | ↑ | ↑ | |
| 10 | 火 | WAG_2025_Cont C | WAG_2025_Cont C | |
| 11 | 水 | 韓国 | 韓国 | |
| 12 | 木 | アジアシニア | アジアジュニア | |
| 13 | 金 | ↓ | ↓ | |
| 14 | 土 | | | |
| 15 | 日 | | | |
| 16 | 月 | 帰国 | 帰国 | |
| 17 | 火 | | | |
| 18 | 水 | | | 男子 |
| 19 | 木 | | | 第1回N合宿 |
| 20 | 金 | | | |
| 21 | 土 | | | 男子試技会 |
| 22 | 日 | | | |
| 23 | 月 | | | |
| 24 | 火 | | | |
| 25 | 水 | | | |
| 26 | 木 | | | |
| 27 | 金 | | | |
| 28 | 土 | | | |
| 29 | 日 | | | |
| 30 | 月 | | | |

代表選手のみ招集　期間情報

アジアシニア6/12~15 ジュニアと同時期

女子ユニバ代表(正選手・補欠)

①6/4

メディカルチェック決定日

7月

| | | | | 男子 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 火 | | | |
| 2 | 水 | | | |
| 3 | 木 | | | 男子 |
| 4 | 金 | | | 第2回N合宿 |
| 5 | 土 | | | 男子試技会 |
| 6 | 日 | | | |
| 7 | 月 | | | |
| 8 | 火 | | | |
| 9 | 水 | | | |
| 10 | 木 | | | |
| 11 | 金 | | | |
| 12 | 土 | ↑ | | |
| 13 | 日 | 第2回ナショナル合宿 | | |
| 14 | 月 | ユニバ・世界選 | | |
| 15 | 火 | ↓ 出発 | | |
| 16 | 水 | 入村？開会式 | | |
| 17 | 木 | | | |
| 18 | 金 | | | |
| 19 | 土 | 世界ユニバー | | |
| 20 | 日 | シティゲームズ | | |
| 21 | 月 | ドイツ | | |
| 22 | 火 | ライン・ルール | | |
| 23 | 水 | 体操大会期間 7/23~26 | | |
| 24 | 木 | | | |
| 25 | 金 | | | |
| 26 | 土 | | | |
| 27 | 日 | | | |
| 28 | 月 | 閉会式参加予定 | | |
| 29 | 火 | ↓帰国？ | | |
| 30 | 水 | | | |
| 31 | 木 | | | |

※合宿に関しては仮日程

代表選手のみ招集

世界ジュニア開催日　確認中

8月

| | | | | 男子 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 金 | | | |
| 2 | 土 | | ↑ | |
| 3 | 日 | | インターハイ | |
| 4 | 月 | | 島根 | |
| 5 | 火 | | ↓ | |
| 6 | 水 | | | |
| 7 | 木 | | | |
| 8 | 金 | | | |
| 9 | 土 | | | |
| 10 | 日 | | | |
| 11 | 月 | | | |
| 12 | 火 | | ↑ | |
| 13 | 水 | | | |
| 14 | 木 | | 全日本ジュニア | |
| 15 | 金 | | 日環アリーナ | |
| 16 | 土 | | | |
| 17 | 日 | | ↓ | |
| 18 | 月 | | ↑ | |
| 19 | 火 | | | |
| 20 | 水 | | インカレ | |
| 21 | 木 | | 青森・弘前 | |
| 22 | 金 | | ↓ | ↑ |
| 23 | 土 | | | 全国中学大会　長崎 |
| 24 | 日 | | | ↓ |
| 25 | 月 | | | |
| 26 | 火 | ↑ | ↑ | |
| 27 | 水 | 第３回ナショナル合宿 | 世界ジュニア合宿 | 試技会① |
| 28 | 木 | 世界選 | (自費参加) | |
| 29 | 金 | ↓ | ↓ | 男子 |
| 30 | 土 | | | 第1回JN合宿 |
| 31 | 日 | | | |

9月

| | | | | 男子 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 月 | | | |
| 2 | 火 | | | |
| 3 | 水 | | | |
| 4 | 木 | | | |
| 5 | 金 | | | |
| 6 | 土 | 会場練習 | シニア 八王子 | |
| 7 | 日 | ジュニアトライアウト | SP final | |
| 8 | 月 | | | |
| 9 | 火 | | | |
| 10 | 水 | | | |
| 11 | 木 | | | |
| 12 | 金 | | | |
| 13 | 土 | | 滋賀国体 | |
| 14 | 日 | | | |
| 15 | 月 | | | |
| 16 | 火 | | | |
| 17 | 水 | | | |
| 18 | 木 | | | |
| 19 | 金 | | | |
| 20 | 土 | | マスターズ | |
| 21 | 日 | | 上越 | |
| 22 | 月 | | | |
| 23 | 火 | | | |
| 24 | 水 | | | |
| 25 | 木 | | | |
| 26 | 金 | | | |
| 27 | 土 | | | |
| 28 | 日 | ↑ | | |
| 29 | 月 | 第４回ナショナル合宿 | 試技会②予選 | 男子 |
| 30 | 火 | 世界選 | | 第3回N合宿 |

※合宿に関しては仮日程

代表選手のみ招集

トライアウト(第3回ジュニアナショナル強化合宿)仮予定

国内合宿でメンバー選考の場合は

試技会③で最終決定

試技会④は決定メンバーで行う

2025年度女子体操強化本部

年間活動計画(2025年10月～2026年3月)

2025年3月28日 金曜日

2025/10/01

| | | | | 男子 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 水 | 試技会③決勝 | 種目別出場決定 | 男子 |
| 2 | 木 | ↓ | | 第3回N合宿 |
| 3 | 金 | | | |
| 4 | 土 | | | 男子試技会 |
| 5 | 日 | | | |
| 6 | 月 | | | |
| 7 | 火 | | | |
| 8 | 水 | | | |
| 9 | 木 | | ↑ | 男子試技会 |
| 10 | 金 | | 第4回ジュニア合宿 | |
| 11 | 土 | 世界選手権事前合宿 | ↓ | 男子試技会 |
| 12 | 日 | 世界選試技会④ | 第1回特別合宿 | |
| 13 | 月 | ↓ | (特別強化・次世代強化) | |
| 14 | 火 | 出発 | 10/12~14 | |
| 15 | 水 | トレーニング | | |
| 16 | 木 | トレーニング | | |
| 17 | 金 | 女子ポディウム1日目 | | |
| 18 | 土 | 女子ポディウム2日目 | | |
| 19 | 日 | | | |
| 20 | 月 | 女子予選1日目 | | |
| 21 | 火 | 女子予選2日目 | | |
| 22 | 水 | 男子個人決勝 | | |
| 23 | 木 | 女子個人決勝 | | |
| 24 | 金 | 種目別前半決勝(VT/UB) | | |
| 25 | 土 | 種目別後半決勝(BB/FX) | | |
| 26 | 日 | 帰国 | | |
| 27 | 月 | | | |
| 28 | 火 | | | |
| 29 | 水 | | | |
| 30 | 木 | | | |
| 31 | 金 | | | |

代表選手のみ招集

国内合宿でメンバー選考の場合は

試技会③で最終決定

試技会④は決定メンバーで行う

11月

| | | | | 男子 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 土 | | | |
| 2 | 日 | | ↑ 11/2~5 | |
| 3 | 月 | | 世界ジュニア | |
| 4 | 火 | | 個人合宿 | |
| 5 | 水 | | ↓ | |
| 6 | 木 | | | |
| 7 | 金 | | | |
| 8 | 土 | | | |
| 9 | 日 | | | |
| 10 | 月 | | | |
| 11 | 火 | | | |
| 12 | 水 | | | |
| 13 | 木 | ↑ | | |
| 14 | 金 | 全日本団体・種目別 | | |
| 15 | 土 | 高崎アリーナ | | |
| 16 | 日 | ↓ | | |
| 17 | 月 | | ↑ 10/17~25 | |
| 18 | 火 | | 世界ジュニア | |
| 19 | 水 | | ポディウム女子 | |
| 20 | 木 | | | |
| 21 | 金 | | 団体決勝 | 男子 |
| 22 | 土 | | 個人決勝女子 | 第3回JN合宿 |
| 23 | 日 | | 種目別前半 | |
| 24 | 月 | | 種目別後半 | |
| 25 | 火 | | ↓ | |
| 26 | 水 | | | |
| 27 | 木 | | | |
| 28 | 金 | | | |
| 29 | 土 | | | |
| 30 | 日 | | | |

U-12 高崎　11/22.23.24

(新体操も含めた期間)

12月

| | | | | 男子 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 月 | | | |
| 2 | 火 | 入国日　韓国 | | |
| 3 | 水 | 練習 | | |
| 4 | 木 | 練習 | | |
| 5 | 金 | 練習 | | |
| 6 | 土 | 練習 | | 男子 |
| 7 | 日 | 観光 | | 第4回JN合宿 |
| 8 | 月 | | | |
| 9 | 火 | | | |
| 10 | 水 | | | 入国日　日本 |
| 11 | 木 | ↑ | ↑ | 練習 |
| 12 | 金 | 第5回ナショナル合宿 | 第5回ジュニア合宿 | 練習 |
| 13 | 土 | ナショナル・シニア強化 | ジュニアナショナル | 練習 |
| 14 | 日 | ↓ | ↓ | 練習 |
| 15 | 月 | | | 観光 |
| 16 | 火 | | | |
| 17 | 水 | | | FIGコーチアカデミー |
| 18 | 木 | | | NTC |
| 19 | 金 | | | |
| 20 | 土 | | ↑ | |
| 21 | 日 | | | ↓ |
| 22 | 月 | | 公認コーチ | |
| 23 | 火 | | NTC | |
| 24 | 水 | | ↓ | |
| 25 | 木 | | | 男子 |
| 26 | 金 | | | 第5回N合宿 |
| 27 | 土 | | | |
| 28 | 日 | | | |
| 29 | 月 | | | |
| 30 | 火 | | | |
| 31 | 水 | | | |

1月

| | | | | 男子 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 木 | | | |
| 2 | 金 | | | |
| 3 | 土 | | | |
| 4 | 日 | | | |
| 5 | 月 | | | |
| 6 | 火 | | | |
| 7 | 水 | | | |
| 8 | 木 | | | |
| 9 | 金 | | | |
| 10 | 土 | | | |
| 11 | 日 | | | |
| 12 | 月 | | | |
| 13 | 火 | | | |
| 14 | 水 | | | |
| 15 | 木 | | | |
| 16 | 金 | | | 男子 |
| 17 | 土 | | | 第5回JN合宿 |
| 18 | 日 | | ↑ | |
| 19 | 月 | | 第6回ジュニア合宿 | |
| 20 | 火 | | U-15・特別強化 | |
| 21 | 水 | | ↓ | ↑ |
| 22 | 木 | | | 第2回特別合宿(U12) |
| 23 | 金 | | | ↓ |
| 24 | 土 | | | |
| 25 | 日 | | | 法定停電(24夜~26朝) |
| 26 | 月 | | | |
| 27 | 火 | ↑ 1/27~30 | | |
| 28 | 水 | 第6回ナショナル合宿 | | |
| 29 | 木 | ナショナル・シニア強化 | | |
| 30 | 金 | ↓ | | |
| 31 | 土 | | | |

2月

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 日 | | | |
| 2 | 月 | | | |
| 3 | 火 | | | |
| 4 | 水 | | | |
| 5 | 木 | | | |
| 6 | 金 | ↑ | ↑ | |
| 7 | 土 | 第7回ジュニア合宿 | 第3回特別合宿(U12) | |
| 8 | 日 | U-15・特別強化 | ↓ | |
| 9 | 月 | | | |
| 10 | 火 | | | 男子 |
| 11 | 水 | | | 第6回N合宿 |
| 12 | 木 | | | |
| 13 | 金 | | | |
| 14 | 土 | ↑ | | |
| 15 | 日 | 第7回ナショナル合宿 | ←強化指定全体研修あり | |
| 16 | 月 | ナショナル・シニア強化 | | |
| 17 | 火 | ↓ | | |
| 18 | 水 | | | |
| 19 | 木 | | | WCコトブス |
| 20 | 金 | | | |
| 21 | 土 | | ブロック合宿 | |
| 22 | 日 | | 大阪体大 | |
| 23 | 月 | | | |
| 24 | 火 | | | |
| 25 | 水 | | | |
| 26 | 木 | | | |
| 27 | 金 | | | |
| 28 | 土 | | | 全日本個人トライアウト |

全日本個人トライアウト 2/28~3/1

3月

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 日 | | | | |
| 2 | 月 | | | | ↑ |
| 3 | 火 | | | | 第8回ジュニア合宿 |
| 4 | 水 | | カナダ国際 | | U-15・特別強化 |
| 5 | 木 | WCバクー | ジュニア・シニア | | |
| 6 | 金 | | | | |
| 7 | 土 | | | アメリカ | ↑ |
| 8 | 日 | | | | 男子トライアウト |
| 9 | 月 | | | | |
| 10 | 火 | | | | |
| 11 | 水 | | | | |
| 12 | 木 | | | | |
| 13 | 金 | | | | |
| 14 | 土 | | | | |
| 15 | 日 | | | | |
| 16 | 月 | | | | |
| 17 | 火 | | | | |
| 18 | 水 | | | | |
| 19 | 木 | DTB | | | |
| 20 | 金 | ジュニア・シニア | | | ↑ |
| 21 | 土 | | | | 第4回特別合宿 |
| 22 | 日 | | | | 次世代強化 |
| 23 | 月 | | | | |
| 24 | 火 | | | | |
| 25 | 水 | | | | |
| 26 | 木 | | | | |
| 27 | 金 | | | | |
| 28 | 土 | | | | |
| 29 | 日 | | | | |
| 30 | 月 | | | | |
| 31 | 火 | | | | |

2026年全国ジュニアブロック選抜体操競技選手権大会

11/7~8 三重県四日市(U-12・15)

女　子　体　操　強　化　本　部

＜大会成績報告＞

アジア選手権　韓国・堤川市

シニア：団体総合：準優勝（岸里奈・杉原愛子・川上紗輝・中村遥香）

個人総合：優勝（杉原愛子）　準優勝（中村遥香）

種目別：段違い平行棒　準優勝（中村遥香）　4 位（岸里奈）

平均台　　準優勝（杉原愛子）4 位（中村遥香）

ゆか　　準優勝（杉原愛子）3 位（中村遥香）

ジュニア：団体総合：優勝（棟田琳音・藤後七海・皿田愛結・登日みなみ）

個人総合：優勝（登日みなみ）　準優勝（皿田愛結）

種目別：跳馬　　優勝（登日みなみ）　準優勝（皿田愛結）

段違い平行棒　優勝（棟田琳音）　準優勝（皿田愛結）

平均台　　優勝（藤後七海）　準優勝（登日みなみ）

ゆか　　優勝（藤後七海）　優勝（登日みなみ）

2025FISU ワールドユニバーシティゲームズ ドイツ・ラインルール

団体総合：優勝（岡村真・宮田笙子・牛奥小羽・深沢こころ・芦川うらら）

個人総合：優勝（宮田笙子）準優勝（岡村真）

種目別：跳馬　　優勝（宮田笙子）　準優勝（牛奥小羽）

段違い平行棒　3 位（宮田笙子）　6 位（深沢こころ）

平均台　　優勝（芦川うらら）4 位（岡村真）

ゆか　　優勝（宮田笙子）準優勝（牛奥小羽）

第 53 回世界選手権　インドネシア・ジャカルタ

個人総合：6 位（岸里奈）　7 位（杉原愛子）

種目別:平均台　3 位（杉原愛子）

ゆか　1 位（杉原愛子）

第 3 回世界ジュニア選手権大会　フィリピン・マニラ

団体総合：準優勝（南埜佑芽・西山実沙・小川莉昊）

個人総合：優勝（南埜佑芽）　3 位（西山実沙）

種目別：跳馬：　準優勝（西山実沙）　6 位（南埜佑芽）

平均台　準優勝（南埜佑芽）4 位（西山実沙）

ゆか　　優勝（西山実沙）　4 位（小川莉昊）

①現状分析（2025 年度下半期の振り返り）

2025 年度下半期の強化方針は、FISU ワールドユニバーシティゲームズ、世界選手権、世界ジュニア選手権など主要国際大会において、2024 年度から積み重ねてきた強化の成果を確実に発揮し、国際舞台で安定した成績を残すことを中心目標としていた。

その結果、世界選手権をはじめとする複数の国際大会で、当初の目標を大きく上回る成果を挙げることができた。特に世界選手権個人総合では 2 名が同時に入賞し、日本女子として近年稀に見る結果を残した。これは個人総合強化の成果が形となっただけでなく、強化プログラムそのものが機能している証拠である。

# 女 子 体 操 強 化 本 部

世界選手権の動向としては、強豪国の多くが「ベテラン 1～2 名＋若手 2～3 名」という構成で臨み、新ルール初年度かつオリンピック翌年という不確定な環境下で安定した演技が求められる大会であった。若手選手を中心に平均台やゆかの着地に不安定さが見られた一方、日本チームは難度よりも演技の質が評価され、今後の方向性として質の追求が引き続き重要であることが示唆された。

また世界ジュニア選手権では、フランス・アメリカのジュニア層の成長が顕著で、技術水準はシニアと同等に達する選手も出現する一方、国際経験不足により大過失が生じ、メダルを逃すケースが多かった。国際経験の不足は、器具適応、ポディウム経験、緊張下での実施力など複数の要因に影響しており、日本としても同様の課題を抱えている。今後はジュニア期からの国際派遣を増やし、国際的な環境に早期から慣れる強化体制が急務である。

新　体　操　強　化　本　部



新体操強化本部長
村田由香里

## A. 2025 年度の事業報告

### ①　現状整理（総括）

2025 年度は、日本新体操にとって大きな節目の一年となりました。
フェアリージャパン団体が世界選手権で日本史上初の金メダルを獲得できたことは、選手の努力はもとより、これまで強化に携わってくださった指導者、所属関係者、審判、医科学スタッフ、全国の関係者の皆様による長年の取り組みとサポートの積み重ねによる成果です。改めて、心より感謝申し上げます。

一方で、この成果を一過性のものとせず、次世代へ確実につないでいくことが、強化本部の責務であると考えております。
強化本部では中長期強化の重要性を共有し、技術・体力・メンタル・医科学支援を統合した強化の仕組みを、合宿・日常サポートへ段階的に落とし込み、選手が安全に成長しながら競技に打ち込める環境づくりを進めてまいりました。

特に医科学プロジェクトについては、「選手管理・測定を行うこと」自体を目的とするのではなく、
**選手一人ひとりが自身のコンディションに関心を持ち、理解し、主体的に行動できるようになること** を最も重要な目的として位置づけてきました。

2025 年度は、アライメント評価やフィジカル測定等を段階的に導入し、
選手・指導者・医科学スタッフが共通の情報をもとに対話できる**基盤づくり**を重視して運用を進めてきました。
あわせて、医科学サポートの**窓口や連携体制を整理・一本化**することで、選手や指導現場が迷うことなく相談・共有できる環境整備にも取り組んでいます。

また、国際基準は年々更新され、その変化の速度も高まっています。こうした国際動向を国内の競技環境へ適時に共有・反映し、全国が同じ方向を向いて強化に取り組める「環境整備」を継続していくことが、今後さらに重要になります。強化本部としては、審判本部をはじめ関係各位と連携しながら、国際的な評価観点・重点ポイントをわかりやすく共有し、全国の指導現場・選手の取り組みがより効果的につながる土台づくりを進めてまいります。

以上を踏まえ、2026 年度は、選手強化・国際動向の共有・医科学サポートを一体として運用し、全国の皆様とともに日本全体の競技力向上を進めていく一年と位置づけます。

# 男 子 ト ラ ン ポ リ ン 強 化 本 部



男子トランポリン強化本部長
人見雅樹

A. 2025 年度の事業報告

| 期間 | 対象 | 事業名 | 種別 | 場所 |
|---|---|---|---|---|
| 2025 年 4 月 17 日(木)<br>～ 4 月 20 日(日) | ナショナル | ナショナル強化合宿① | 合宿 | 東京都北区・JISS |
| 2025 年 6 月 5 日(木)<br>～ 6 月 8 日(日) | ナショナル | ナショナル強化合宿② | 合宿 | 東京都北区・JISS |
| 2025 年 7 月 2 日(水)<br>～8 日(火) | ナショナル | ワールドカップ<br>コインブラ大会 | 大会 | ポルトガル<br>・コインブラ |
| 8 月 30 日(土)<br>～9 月 2 日(火) | ナショナル | ナショナル強化合宿③ | 合宿 | 寄付兼下呂市<br>御岳濁河高地 TC |
| 2025 年 9 月 24 日(水)<br>～9 月 30 日(火) | ナショナル | ワールドカップ<br>ヴァルナ大会 | 大会 | ブルガリア<br>ヴァルナ |
| 10 月 24 日(金)<br>～26 日(日) | JrWCH & WAGC<br>日本代表 | 世界年齢別大会<br>日本代表強化合宿 | 合宿 | 東京都北区・JISS |
| 10 月 29 日(水)<br>～11 月 2 日(日) | WCH<br>日本代表 | ナショナル強化合宿④ | 合宿 | 東京都北区・JISS |
| 11 月 2 日(日)<br>～11 日(火) | WCH<br>日本代表 | 第 38 回世界選手権 | 大会 | スペイン<br>・パンプローナ |
| 11 月 10 日(月)<br>～18 日(火) | JrWCH & WAGC<br>日本代表 | 第 2 回世界ジュニア選手権<br>第 31 回世界年齢別大会 | 大会 | スペイン<br>・パンプローナ |
| 2026 年 1 月 14 日(水)<br>～18 日(日) | ナショナル | ナショナル強化合宿⑤ | 合宿 | 東京都北区・JISS |
| 〃 | ナショナル | 次世代ナショナル<br>強化合宿① | 合宿 | 東京都北区・JISS |
| 2026 年 2 月 13 日(土)<br>～18 日(水) | ナショナル | ナショナル強化合宿⑥ | 合宿 | 東京都北区・JISS |
| 〃 | ナショナル | 次世代ナショナル<br>強化合宿② | 合宿 | 東京都北区・JISS |
| 2026 年 3 月 9 日(月)<br>～15(日) | ナショナル | ワールドカップ<br>アルクマール大会 | 大会 | オランダ<br>・アルクマール |

※一部予定

# 男 子 ト ラ ン ポ リ ン 強 化 本 部

① 現状分析

<2025 年度強化方針>(箇条書き,要約)
・2028LA オリンピックでの金メダル獲得に向け、強化策・強化スタイルを構築する。
・医科学的観点からパフォーマンスの最大値と再現性の向上を図る。
・新ルール(Code of Points 2025-2028)への対応や、国際的な採点傾向・トレンドの
情報収集・分析を行う。
・強豪国ならびに強豪選手をキャッチアップする。
・跳躍動作について、世界の手本となる技術を身につけた選手を育成する。
・2032 年ブリスベン五輪に向けて、長期的視点でターゲット選手の選定・育成を行う。
・ナショナル強化,2028 特別強化,ネクスト強化選手を中心に、持続的な強化サイクルを進める

<2025 年度目標>
・第 38 回世界選手権大会 団体・個人・シンクロ メダル獲得
・ワールドカップシリーズ各大会 個人・シンクロ メダル獲得
・第 2 回世界ジュニア選手権大会および第 31 回世界年齢別大会
個人・シンクロ 各カテゴリ メダル獲得
・ナショナル強化認定制度カテゴリーSA 2 名以上輩出

＜主な競技成績＞
・7 月ワールドカップ コインブラ大会(ポルトガル)
個 人 4 位 松本悠生
6 位 宮野隼人
シンクロ 5 位 美田靖文＆山崎凌空
→目標に対する到達度:個人,シンクロともに未達

・9 月ワールドカップ ヴァルナ大会(ブルガリア)
個 人 2 位 松本悠生
8 位 海野大透
シンクロ 1 位 松本悠生＆宮野隼人
MIX ｼﾝｸﾛ 1 位 松本悠生＆森ひかる
→目標に対する到達度:個人,シンクロともに到達
・10 月ワールドカップ アンティーブ大会(フランス)
個 人 4 位 赤石泰雅
6 位 岸大貴
シンクロ 7 位 美田靖文＆山崎凌空
→目標に対する到達度:個人,シンクロともに未達

・11 月世界選手権大会 パンプローナ(スペイン)
団 体 5 位 松本悠生,宮野隼人,岸大貴,赤石泰雅
個 人 3 位 宮野隼人
8 位 松本悠生
シンクロ 2 位 松本悠生＆宮野隼人
MIX ｼﾝｸﾛ 2 位 宮野隼人＆櫻井愛菜

# 男 子 ト ラ ン ポ リ ン 強 化 本 部

オールアラウンド 5 位
→目標に対する到達度：団体、未達。個人,シンクロ到達。

・11 月世界ジュニア選手権大会 パンプローナ(スペイン)
個 人 2 位 横石塁
シンクロ 2 位 横石塁＆神山空駕

・11 月世界年齢別大会 パンプローナ(スペイン)
17-21 才 個 人 1 位 都竹奏翔
2 位 中山偉斗
シンクロ 1 位 都竹奏翔＆今本修正
→目標に対する到達度
世界ジュニア：個人、シンクロともに到達
世界年齢別：11-12 才 未達(個人のみ参加)
13-14 才 個人、シンクロともに未達
17-21 才 個人、シンクロともに到達

・12 月 5 日現在
ナショナル強化選手認定制度 SA カテゴリー 3 名排出
→目標に対する到達度：到達

〈所見〉
2028LA オリンピックに向けて概ね順調な 1 年目のスタートを切れた。世界選手権をはじめとする主要国際大会で複数のメダルを獲得し、年間目標に対して概ね高い達成度を示すことができた。
世界選手権において、個人でのメダル獲得は 4 大会連続で、選手も 2021 年銀メダル西岡、2022 年銅メダル石川和、2023 年銅メダル西岡、2025 年銅メダル宮野隼人と日本男子トランポリンの選手層の厚さ・一人のタレントに頼らないチームづくりの成果が伺えた。また、決勝へは 2023 年に続き 2 名(宮野・松本悠生)が進み、他にも岸大貴が準決勝では決勝進出ラインの 8 位に入った。出場した選手も、松本 19 才、赤石泰雅 19 才、宮野 23 才、岸大貴 31 才と若手とベテランのチームバランスが良く、世界選手権・男子ナショナルチーム活動の継承と循環が進んでいる。2027 年のオリンピック出場権獲得に向けても良い 1 年となった。
ナショナル強化選手認定制度 SA カテゴリーについては、世界選手権やワールドカップでのメダル獲得ラインと日本の競技力を照らし合わせ、特に 2025 年はルール改正もあり 62.0 と設定したが、国際的な競争力強化とルールに関しては年の途中で足の減点について一部緩和されたこともあり、2026 年度の設定水準は上げたいと考えている。
ジュニア世代においては世界ジュニア・世界年齢別にて複数のメダルを獲得し、将来の強化選手層の充実が確認できた点は成果である。2032 ブリスベンオリンピックに向けても長期的な育成のための良い 1 年となった。
また、これまでの特別強化選手とジュニアナショナルといった育成年代の強化方法を見直し、次世代ナショナル強化選手認定制度を作った。タレントの枯渇問題を選択と集中という形で強化を進めていく。
医科学サポートの充実や世界の手本となる跳躍動作の習得については、2025 年 1 月の合宿から、HPSC の協力でフィットネスを導入しトランポリン競技と相関の高いとされているリバウンドジャンプや垂直跳びなどの数値を測定、選手らは年間と通して数値の向上を意識して取り組んでいた。また、4 月の合宿では、水中という地に足がついていない中での動作制御や姿勢保持、パフォーマンス発揮がトランポリンと類似していると考え、元世界記録保持者で世界水泳金メダリストの古賀淳也氏を招いて水泳トレーニングを実施した。6 月の

# 男 子 ト ラ ン ポ リ ン 強 化 本 部

合宿では、トータルコンディショニングという形で、トレーナー陣の協力で所属環境でのトレーニングや栄養・睡眠・メンタルの取り組みについて主観スケールながらヒアリングを行い、トレーナーによる触診チェックを行った。11 月の世界選手権に向けてもコンディションづくりやケガの予見・トレーナーサイドのための選手のコンディショニング把握に一役買った。8 月の合宿では、標高 1,700m にある岐阜県下呂市の御嶽濁河高地トレーニングセンターで行い、空気抵抗が薄く跳躍高を得やすい環境で高パフォーマンスでの練習を行い、高難度種目の良いイメージ作りや、出来栄え点の向上に努めた。

新ルール（Code of Points 2025-2028）への対応や、国際的な採点傾向・トレンドの情報収集・分析については、こちらも 1 月合宿から審判本部の佐久間審判長と武藤 FIG テクニカルコミッティーとタイアップして、ナショナル強化選手向けに主なルールの変更点について講習を行ってもらった。武藤 TC からは今後もオリンピックの正式種目として存続していけるように競技価値向上についても話してもらった。4 月の合宿でも、試技会を行い武藤 TC に参加してもらった。試技会後は 1 班 1 時間程度×2 班の振り返りをもらい、シーズンインに向けた対応を選手交えて協議した。

2028LA オリンピックでの金メダル獲得を目指すには、引き続き最大値と再現性の向上を最優先の課題解決に挙げる。2025 年世界選手権では 4 大会連続でメダルを獲得できたものの、今世界選手権における強豪選手それぞれの最高得点を並べると、日本では松本の 63.77(予選時)が最高で大会全体では 8 番目であった。選手の被りを除くと 5 番手であり、依然として最大値と再現性の向上が課題である。金メダルターゲットの最高点 1 番の Ivan やメダルターゲットの最高点 3 番の Wang との得点を比較すると、大きく目立つのは T スコア(跳躍時間点)、次に E スコア(演技・出来栄え点)、そして D スコア(難度点)である。T スコアの向上は出来栄えや難しい高難度種目を演技構成に組み入れる要素となるため底上げが必要と考える。今後も医科学サポートと技術分析、基礎強化を基盤に、強化策・強化スタイルの構築を図りたい。

～11 月世界選手権中の得点ベスト 10～

1.Ivan LITVINOVICH AIN1 67.290（男子個人 予選）
2.Ivan LITVINOVICH AIN1 67.090（男子団体 決勝）
3.YAN Langyu CHN 65.520（男子個人 予選）
4.WANG Zisai CHN 64.970（男子個人 準決勝）
5.Gabriel ALBUQUERQUE POR 64.690（男子個人 予選）
6.YAN Langyu CHN 64.430（オールアラウンド決勝 男子トランポリン）
7.WANG Zisai CHN 64.310（男子個人 予選）
8.MATSUMOTO Yusei JPN 63.770（男子個人 予選）
9.KOZLOV Kirill AIN2 63.640（男子個人 予選）
10.YAN Langyu CHN 63.550（男子団体 決勝）
※AIN1：ベラルーシ AIN2：ロシア

～金メダルターゲット想定のIvanと松本の比較～

LITVINOVICH Ivan AIN1 D：21.30 E：18.10 T：18.39 H：9.50 [Total：67.290]
MATSUMOTO Yusei JPN D：20.10 E：17.00 T：17.17 H：9.50 [Total 63.770]

～メダル獲得ターゲット想定の WANG と松本の比較～

WANG Zisai CHN D：20.50 E：17.50 T：17.67 H：9.30 [Total 64.970]
MATSUMOTO Yusei JPN D：20.10 E：17.00 T：17.17 H：9.50 [Total 63.770]

# 男 子 ト ラ ン ポ リ ン 強 化 本 部

※2028LA オリンピックでの試合形式
5.Technical Regulations 2025 (Section 4) より
5.1 オリンピック競技方法 (Art.2)
・予選は 2 本の演技で構成される。
・決勝は、まず 8 選手により 1 本の自由演技で第 1 ラウンド(F1)が行われる。
・その後、4 選手により 1 本の自由演技でスーパーファイナル(F2)が行われる。
・タイ・ブレイクは従来通り(T→H→D→全 E スコア)。
→2028LA オリンピックではスーパファイナル(F2)が実施される。スーパーファイナルに進出することがメダル獲得に向けてチャンスが生まれるが、2025 世界選手権での最高得点 4 番の Gabriel 選手も 64.690 と Wang 選手に近しい得点を出している。そのため、Wang 選手をターゲットのまま強化を進める。また、試合当日も短時間に予選で演技を 2 本、決勝第 1 ラウンド(F1)で演技 1 本、スーパーファイナル(F2)で演技 1 本の計 4 本をこなさなければならない。このあたりも、チームとして早期から共通認識を進め対応していきたい。

# 女　子　トランポリン強　化　本　部



トランポリン女子強化本部長

丸山章子

A. 2025 年度の事業報告

①現状分析

＜主な大会結果報告＞

【WORLD GAMES】 中国・成都　 シンクロ　2位森ひかる・田中沙季

【WORLD CUP ヴァルナ大会】 ブルガリア・ヴァルナ　 全種目優勝

個人　優勝　森ひかる　　シンクロ　優勝　森ひかる・田中沙季　 ミックスシンクロ　優勝　森ひかる・松本悠生

【WORLD CUP アンティーブ大会】 フランス・アンティーブ　 全種目メダル獲得

個人　優勝　三澤優華　 シンクロ2位　田中希湖・高橋明里

【第 38 回世界トランポリン競技選手権大会】 スペイン・パンプローナ　 全種目メダル獲得

個人　2位　森ひかる　シンクロ　優勝　森ひかる・田中沙季

団体　3位　日本（森ひかる、櫻井愛菜・田中沙季・三澤優華）　 ミックスシンクロ　2位　櫻井愛菜・宮野隼人

＜活動報告＞

| 期 間 | 事 業 名 | 種別 | 場 所 |
|---|---|---|---|
| 5月22日～25日 | 女子ナショナル強化合宿① | 合宿 | JISS |
| 7月2日～8日 | WORLD CUP コインブラ | 大会 | ポルトガル・コインブラ |
| 7月16日～19日 | 女子ナショナル強化合宿② | 合宿 | JISS |
| 8月5日～11日 | WORLD GAMES | 大会 | 中国・成都 |
| 8月29日～31日 | 特別強化合宿&ネクスト強化合宿① | 合宿 | JISS |
| 8月29日～31日 | 女子ナショナル強化合宿③ | 合宿 | JISS |
| 9月23日～9月30日 | WORLD CUP ヴァルナ | 大会 | ブルガリア・ヴァルナ |
| 9月30日～10月7日 | WORLD CUP アンティーブ | 大会 | フランス・アンティーブ |
| 10月24日～26日 | 世界年齢別大会日本代表強化合宿 | 合宿 | JISS |
| 10月29日～11月2日 | 女子ナショナル強化合宿④ | 合宿 | JISS |
| 11月2日～11日 | 第 38 回世界選手権大会 | 大会 | スペイン・パンプローナ |
| 11月10日～18日 | 第 31 回世界年齢別大会 | 大会 | スペイン・パンプローナ |
| 2月4日～8日 | 特別強化&ネクスト強化合宿② | 合宿 | JISS |

# 女　子　トランポリン強　化　本　部

| | | | |
|---|---|---|---|
| 2月12日～15日 | 女子ナショナル強化合宿⑤ | 合宿 | JISS |

今年度のマイルストーンはほぼ達成でき（90%）、若手が急成長していることは成果である。次世代ターゲット事業（2019 年～2022 年）で強化していた若手選手が国際大会や海外での合宿等の経験を積み、また計画的に進めている体力強化と難度向上も順調に進み、世界で戦える力がついてきたことが理由である。またベテラン選手（森）は練習拠点を日本からイギリスに移し、オリンピックメダリストコーチのもとメダリストと共に日々レベルの高い練習を積めていることも成果の理由と考えられる。個人競技と言えどもチーム力を大切にしていることも成果の要因である。

新ルール戦略については E 得点を重視するという方向性を確認できたが、今後計画的に難度を上げるための体力強化が必要。今年度は、体力課題としてバイク体重比（最大 10.8kg/w、スタミナ平均 8.1kg/w）、SQ（最大 60kg 以上、体重比 1.11 以上）、肋木パイク型腹筋連続 10 回、トランポリン上での 10 本ジャンプ 21.6 秒以上、陸上跳躍（CMJ40cm、RJ 指数 2.0、LJ217cm 以上）という具体的な KPI を目標にあげ成果をあげているが、今後上げていく難度に対してはさらに年度ごとの KPI 達成が必要。また情報戦略を充実することができなかったため、今後専門性の高いスタッフの確保や情報戦略の定期的なミーティング、スタッフの配置等充実させる必要がある。

# 審　判　委　員　会



審判委員会委員長
櫻井　里枝子

A. 2025 年度の事業報告

① 全国の審判員育成
・採点競技である以上絶対中立の精神を全国に浸透させていく
② 種別ごとに本部会、部会の実施
・審判技術の向上
・採点検証
・国内への採点規則、情報の正確な伝達
③ 種別ごとに研修会等の充実
・1 種認定試験、カテゴリー試験、研修会等

＜種別ごとの事業報告（競技会は除く）＞

| ▽審判委員会 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 月 | 日 | 事業 | 場所 | 備考 |
| 4 | 19 | 委員会 | NTC | 事業打ち合わせ等 |
| 5 | 25 | 委員会（新体操） | 高崎アリーナ | 事業打ち合わせ等 |
| | | 委員会（体操） | 彩の国くまがやドーム | 大会反省等 |
| 7 | 28 | 委員会情報共有① | | 事業情報、大会情報等 |
| 9 | 17 | 委員会情報共有② | | 事業情報、大会情報等 |
| 12 | 16 | 委員会情報共有③ | | 事業情報、大会情報等 |
| 2 | 10 | 委員会情報共有④ | | 事業打ち合わせ等 |

| ▽体操男子 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 月 | 日 | 事業 | 場所 | 備考 |
| 4 | 19 | 本部会 | 高崎アリーナ | 大会準備等 |
| 5 | 17 | 本部会 | 東京体育館 | 大会準備等 |
| 6 | 14 | 本部会 | オンライン | 研修会、講習会、試験準備等 |
| 7 | 12 | 本部会 | NTC | 研修会、講習会、試験準備等 |
| 8 | 16 | 本部会 | 高崎アリーナ | 研修会、講習会、試験準備等 |
| 10 | 11 | 映像選考 | NTC | |
| | 12 | 本部会 | NTC | 研修会、講習会、試験準備等 |
| 11 | 13 | 本部会 | 高崎アリーナ | 研修会、講習会、試験準備等 |
| 12 | 20 | 本部会 | NTC | 研修会、講習会、試験準備等 |
| | 23 | 1種保留解除研修会 | オンライン | 2026/2/22 までオンデマンド研修 |
| 1 | 10 | 本部会 | NTC | 研修会、講習会、試験準備等 |
| | 24 | ルールセミナー | NTC | 研修会 |
| 2 | 7 | 部内研修会 | NTC | |

# 審　判　委　員　会

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 8 | 部内研修会 | NTC | コンプライアンス研修 |
| | 11 | 映像選考 | NTC | |
| | 14 | 本部会 | 関東学院大学 | 研修会、講習会、試験準備等 |
| | 14-15 | 全国代表審判員研修会 | 関東学院大学 | |
| | 22 | 1 種審判員認定講習会 | NTC | |
| | | カテゴリー認定試験 | NTC | |
| 3 | 7 | 本部会 | NTC | 事業打ち合わせ等 |
| | 8 | トライアウト | NTC | |
| | 29 | 本部会 | NTC | 事業打ち合わせ等 |

▽体操女子

| 月 | 日 | 事業 | 場所 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 4 | 5 | 本部会 | NTC | 年間計画、大会打ち合わせ |
| | 19 | 第 1 回部内研修会 | 高崎アリーナ | モラール研修 |
| 7 | 19 | 本部会 | オンライン | 大会打ち合わせ、研修会、講習会準備 |
| 10 | 4 | 本部会 | NTC | 研修会、講習会、試験準備等 |
| 11 | 9 | 本部会 | NTC | 研修会、講習会、試験準備等 |
| | 4 | 1種保留解除研修会 | オンデマンド | 2026/1/30 までオンデマンド研修 |
| 12 | 6 | 本部会 | NTC | 研修会、講習会、試験準備等 |
| | 13 | 本部会 | NTC | 研修会、講習会、試験準備等 |
| | 20 | 本部会 | オンライン | 研修会、講習会、試験準備等 |
| 1 | 10-11 | 本部会 | NTC | 研修会、講習会、試験準備等 |
| | 17 | 本部会 | NTC | 研修会、講習会、試験準備等 |
| | 24 | ルールクリニック | 日本女子体育大学 | 研修会 |
| | 25 | 全国代表審判員研修会 | 日本女子体育大学 | |
| 2 | 7 | 本部会 | NTC | 研修会、講習会、試験準備等 |
| | 14 | 本部会 | NTC | 研修会、講習会、試験準備等 |
| | 21-22 | 1 種審判員認定講習会 | 国士舘大学 | |
| | | カテゴリー認定試験 | 国士舘大学 | |
| 3 | 7-8 | 第 2 回部内研修会 | NTC | コンプライアンス研修 |
| | 29 | 本部会 | オンライン | 事業打ち合わせ等 |

▽新体操

| 月 | 日 | 事業 | 場所 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 4 | **7** | 本部会 | オンライン | 事業打ち合わせ等 |
| 5 | 11 | ルール研修会 | オンライン | |
| | 23 | 本部会 | 高崎アリーナ | 大会打ち合わせ等 |
| 6 | 10 | 本部会 | オンライン | 事業打ち合わせ等 |
| 7 | 30 | ルール研修会 | オンライン | |
| 8 | 5 | 本部会 | オンライン | 事業打ち合わせ等 |
| 10 | 15 | 本部会 | オンライン | 事業打ち合わせ等 |
| 11 | 1 | ルール研修会 | オンライン | |
| | 6 | 本部会 | 高崎アリーナ | 大会打ち合わせ、コンプライアンス研修 |
| | 27 | 本部会 | 立飛アリーナ | 事業打ち合わせ等 |
| 12 | 13-14 | 1 種審判員認定講習会 | 中央大学 | |
| 1 | 15 | 本部会 | JOS | 事業打ち合わせ等 |

# 審　判　委　員　会

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 22 | 本部会 | オンライン | 研修会、試験準備等 |
| | 31-2/1 | 全国ルール研修 | オンライン | |
| | | カテゴリー試験 | オンライン | |
| | | 1種保留解除研修会 | オンライン | |
| 2 | 1 | 本部会 | 日本女子体育大学 | 事業打ち合わせ等 |
| 3 | | 本部会 | オンライン | 事業打ち合わせ等 |

| ▽トランポリン | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 月 | 日 | 事業 | 場所 | 備考 |
| 4 | 18 | ナショナル合宿（試技会） | JISS | 男子合宿　審判派遣 |
| 5 | 16 | 本部会 | ヤマト市民体育館前橋 | 委員会報告、審判講習会、国際審判コースレビュー |
| | 24 | ナショナル合宿（試技会） | JISS | 女子合宿　審判派遣 |
| 6 | 7 | 全日本ジュニア予選 | JISS | 映像審査 |
| | 30 | 本部会 | 静岡産業大学 | 委員会報告、国際審判派遣、審判編成基準 |
| 7 | 19 | ナショナル合宿（試技会） | JISS | 女子合宿　審判派遣 |
| | 31 | 本部会 | いしかわ総合スポーツセンター | 委員会報告、最終選考会レビュー、審判編成基準 |
| 10 | 17 | 本部会 | ナースパワーアリーナ熊本 | 委員会報告、1 種審判講習会、ルール変更点について |
| | 31 | ナショナル合宿（試技会） | JISS | 男女合宿 審判派遣 |
| 12 | 5 | 本部会 | とどろきアリーナ | 事業打ち合わせ等 |
| 1 | | 本部会 | オンライン | コンプライアンス研修 |
| 2 | 14 | 1 種審判員認定試験 | NTC 等 | |
| | | カテゴリー認定試験 | NTC 等 | |
| | | 1種保留解除研修会 | NTC 等 | 対面研修<br>（オンデマンドとどちらか選択） |
| | 18 | 1種保留解除研修会 | オンライン | 2/25 までオンデマンド研修 |
| | 7 | トライアウト | JISS | 審判派遣 |
| | | 都道府県主催審判講習会 | 全国 | 審判派遣（21 回実施） |

# 大　会　運　営　委　員　会



大会運営委員会委員長

後藤　洋一

A. 2025 年度の事業報告

① 現状分析（運営に関わった大会）

- 体操競技において、第79回全日本体操個人総合選手権および第64回 NHK 杯体操では、2，000人を超える入場観客数（週末）があった。一方で第79回全日本体操団体・種目別選手権大会では、週末の競技においても1，000人に満たない状況であった。全大会において、ライブ配信を実施したことにより来場できないファン層への競技観戦の機会をつくった。一方、会場借用料はじめ、諸般の物価高により大会支出が増えた。
- 新体操において、第78回全日本新体操選手権では週末の入場者数が2，000人を超えた。2025年度大会参加費を値上げしたことにより大会収入が増加した。
- トランポリン競技において、第62回全日本トランポリン競技選手権大会では、選手入場時に暗転・照明などの演出や缶バッジの販売を実施するなどファンサービスを試みた。

◆体操競技

| 期日 | | 大会名 | 会場 |
|---|---|---|---|
| 4 月 | 17（木）-20（日） | 第 79 回全日本体操個人総合選手権 | 群馬県　高崎アリーナ |
| 5 月 | 16（金）-18（日） | 第 64 回 NHK 杯 | 東京都　東京体育館 |
| 11 月 | 13（木）-16（日） | 第 79 回全日本体操団体・種目別選手権 | 群馬県　高崎アリーナ |
| 3 月 | 27（金）-28（土） | 第 25 回全国体操小学生大会 | 茨城県　丸高アリーナ |

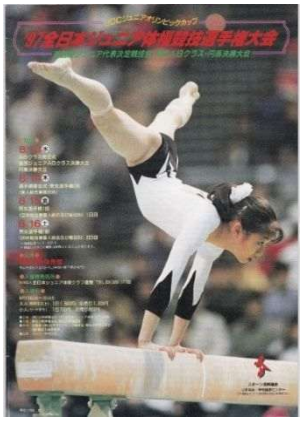
◆新体操

| 期日 | | 大会名 | 会場 |
|---|---|---|---|
| 5 月 | 23（金）-25（日） | 第 23 回全日本新体操ユースチャンピオンシップ<br>第 16 回男子新体操団体選手権大会 | 群馬県　高崎アリーナ |
| 11 月 | 7（金）- 9（日） | 第 78 回全日本新体操選手権大会 | 群馬県　高崎アリーナ |
| 11 月 | 28（金）-30（日） | 第 43 回全日本ジュニア新体操選手権大会 | 群馬県　高崎アリーナ |
| 12 月 | 1（月） | 2025 全日本ジュニア新体操チャレンジカップ | 東京都　アリーナ立川立飛 |

◆トランポリン

| 期日 | | 大会名 | 会場 |
|---|---|---|---|
| 5 月 | 17（土）-18（日） | 第 12 回全日本トランポリン競技年齢別選手権大会 | 群馬県　ヤマト市民体育館 |
| 6 月 | 14（土）-15（日） | 第 23 回全日本タンブリング・ダブルミニトランポリン競技選手権大会 | 静岡県　静岡産業大学 |
| 6 月 | 28（土）-29（日） | 第 38 回世界トランポリン競技選手権大会・第 31 回世界トランポリン年齢別競技大会最終選考会 | 静岡県　静岡産業大学 |
| 8 月 | 1（金）- 3（日） | 第 11 回全日本トランポリン競技ジュニア選手権大会 | 石川県　いしかわ総合スポーツセンター |
| 10 月 | 18（土）-19（日） | 第 62 回全日本トランポリン競技選手権大会 | 熊本県　ナースパワーアリーナ |
| 12 月 | 5（金）- 7（日） | 2025 川崎トランポリンジャパンオープン | 神奈川県　とどろきアリーナ |
| 3 月 | 7（土）- 8（日） | 第 12 回全日本タンブリング・ダブルミニトランポリン競技年齢別選手権大会 | 静岡県　アミューズ豊田 |

# コーチ育成委員会



コーチ育成委員会委員長
明名 亜希子
副委員長／体操競技部長　伊藤 清良
副委員長／新体操部長　高橋 弥生
副委員長／トランポリン部長　福井 卓也

## 【体操競技】

### A. 2025 年度の事業報告

＜体操競技＞

| No | 日程 | 事業 | 会場 |
|---|---|---|---|
| 1 | 4 月 28 日（月） | 委員会（体操競技）会議 | メール |
| 2 | 12 月 20 日（土）～24 日（水） | JSPO 公認コーチ3養成講習会 | NTC |
| 3 | 1 月 31 日（土） | 男子ジュニア四国ブロック合宿コーチ研修会（公認コーチ3・4更新講習） | 徳島　徳島市立体操センター |
| 4 | 2 月 7 日（土）～8 日（日） | 西ブロック男女指導者研修会（公認コーチ3・4更新講習） | 大阪　大阪体育大学 |
| 5 | 2 月 14 日（土）～15 日（日） | 東ブロック男女指導者研修会（公認コーチ3・4更新講習） | 静岡　静岡産業大学 |
| 6 | 2 月 22 日（日） | 女子ジュニア近畿ブロック合宿コーチ研修会（公認コーチ3・4更新講習） | 大阪　大阪体育大学 |
| 7 | 通年 | JGA コーチ・指導者資格教材作成 | |

### ①　現状分析

■指導者資格取得について

JSPO 公認コーチ認定者数（2025 年 10 月 1 日付）

| | | 20代以下 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代以上 | 合計 | 割合 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| コーチ 3 | 男性 | 97 | 209 | 202 | 118 | 60 | 15 | 701 | 70.5% |
| | 女性 | 67 | 91 | 66 | 39 | 19 | 12 | 294 | 29.5% |
| | 小計 | 164 | 300 | 268 | 157 | 79 | 27 | 995 | |
| コーチ 4 | 男性 | 0 | 0 | 4 | 5 | 9 | 12 | 30 | 88.2% |
| | 女性 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 4 | 11.8% |
| | 小計 | 0 | 0 | 4 | 6 | 10 | 14 | 34 | |

# コーチ育成委員会

この数年で公認コーチ3受講者数は全体を見ると少なくなってきているが、2024 年度スタートの「全日本」大会の資格義務付けに伴い、概ねの指導者が資格を取り終えたと見ている。同時に、20 代の受講者が増えてきており、昨年度より、現役の大学生の受講が見られるようになった。

今年度の新規受講申し込み者は 49 名（内訳：20 代 30 名、30 代 8 名、40 代 6 名、50 代 3 名、60 代 2 名）、昨年度までに申し込みをした専門科目講習会未受講者が 39 名となっている。

■資格更新のための「更新講習」について

JSPO 公認コーチ3・4は 4 年に一度更新講習の受講義務があり、1 月～3 月の間で男女ジュニアブロック合宿コーチ研修会と東西ブロック男女指導者研修会を開催しているが、毎年開催場所の決定に苦悩している状況である。数日間の日程のため、近隣の宿泊施設の有無も含め、ある程度施設、設備が整った場所が条件的に求められるので、地域委員会とも連携しながら、費用面も含めて早めの検討が必要である。

この 5 年ほどで「強化との連携」を一つの課題とし、講習内容の改革を図ってきた。講師にジュニア強化部員、審判本部員をお迎えし、ジュニア指導の為の基礎知識や基本技術、芸術性及び表現に関する指導法、競技会でのマナー・立ち振舞い等も含めた伝達を行うことで指導者・選手のスキルアップ・共通理解・意識向上を図っている。特にジュニア強化においては近年地方からの強化選手も増えてきており、内容のブラッシュアップをしながら継続して実施していきたい。また、昨年度からはキャリア講習・インテグリティに関する講話・ハラスメント講習も実施おり、コンプライアンス問題の抑止にも取り組んでいる。

■JGA コーチ・JGA 指導員について

今年度からスタートした JGA コーチは 17 名取得し、JGA 指導員は 13 名取得となっている。この資格の在り方として、各種競技会での義務化が一つの目的でもあるので、2030 年での制定にむけて WEB システム担当と連携しながら継続的に E ラーニングのブラッシュアップを図る。

■資格の義務化

2030 年の「全日本大会」以外での制定に向けて各競技会でのシミュレーションをしながら調整中。

また、競技会だけでなく、「体操教室」の増加に伴い、指導者の質が問われる場面が SNS で発信されているもの等に散見される。この層に対して JGA 指導員資格等をどう促していくか、その内容も含めて課題を感じている。

【新体操】

**A. 2025 年度の事業報告**

＜新体操＞

| No. | 日　程 | 事　業 | 会　場 |
|---|---|---|---|
| 1 | 9 月 15 日（月・祝） | 9 ブロック U12 研修会　九州ブロック | 鹿児島県/鹿児島県総合体育センター体育館 |
| 2 | 9 月 27 日（土） | 9 ブロック U12 研修会　東海ブロック | 三重県/三重県営サンアリーナ |
| 3 | 10 月 4 日（土） | 9 ブロック U12 研修会　中国ブロック | 広島県/エフピコアリーナふくやま |
| 4 | 10 月 19 日（日） | 9 ブロック U12 研修会　近畿ブロック | 奈良県/奈良文化高等学校 |
| 5 | 11 月 1 日(土) | 9 ブロック U12 研修会　四国ブロック | 香川県/観音寺市立総合体育館 |
| 6 | 11 月 15 日(土) | 9 ブロック U12 研修会　北信越ブロック | 石川県/石川県金沢市立工業高等学校 第一体育館 |
| 7 | 11 月 15 日(土) | 9 ブロック U12 研修会　東北ブロック | 山形市総合スポーツセンター　第2体育館 |
| 8 | 11 月 16 日（日） | 9 ブロック U12 研修会　北海道 | 札幌静修高等学校 |
| 9 | 12 月 6 日(土) | 9 ブロック U12 研修会　関東ブロック | |
| 10 | 11 月 22 日～11 月 26 日 | JSPO 公認コーチ 3 専門科目講習会 | NTC |
| 11 | 12 月 21 日（日） | JSPO 公認新体操コーチ 3・コーチ 4 資格更新のための研修会 | JISS |
| 12 | 2026 年 2 月 7 日～8 日 | U12 選抜合宿 | JISS |

**① 現状分析**

神奈川県/アサンテスポーツパーク(旧県立スポ･

・　<u>JSPO 公認コーチ講習会　受講者数は昨年から減少</u>

【受講者数】

2023 年度：75 名（資格義務化前）

2024 年度：94 名（資格義務化初年度）

2025 年度：79 名。（資格義務化 2 年目）

全日本新体操選手権大会にて資格が義務化されてから 2 年目となることが原因と考えられる。今後は減少することが予想される。新体操の指導現場をより質の高いものにするためには、無資格の指導者をなるべく減少させることが望ましいと考える。他の全国大会でも資格義務化を進めていきたいと考える。また、指導者の指導のスキルアップ講習会なども開催したいと検討中。

・　<u>9 ブロック U12 研修会の参加者も減少傾向にある</u>

強化本部が研修会内容を考え、現場でも指導を行うことで強化本部とコーチ育成が選手育成・指導者育成の観点で、目指す方向性は以前と比較すると歴然と統一されたと考える。一方で、強化本部が関わることや、選考に一定の時間と労力を割くことにより、受講者側の感想としては選手選抜の意味合いが強調されているようである。そのため、参加者獲得のためには、研修会の内容を参加者が望む内容に少し寄せる工夫が必要であると考え、この後アンケートを実施予定である。

・　JGA コーチ：79 名が取得

ブロック担当者から全国に JGA コーチが取得できるようになったことを宣伝いただいた。公認コーチを取得するまでに至らない若手のコーチや、仕事の都合で JSPO 公認コーチ講習会を受講できない指導者が取得してくれた。

コ ー チ 育 成 委 員 会

【トランポリン】

**A. 2025 年度の事業報告**

＜トランポリン＞

| No. | 日　程 | 事　業 | 会　場 |
|---|---|---|---|
| 1 | 8/30（土）～31 日（日） | トランポリン公認コーチ講習会 | 北海道士別市（10 名認定） |
| 2 | 11/15（土）～16 日（日） | トランポリン公認コーチ講習会 | 香川県琴平町（11 名認定） |
| 3 | 12/20（土）～24 日（水） | JSPO 公認コーチ 3 専門科目講習会 | JISS、NTC |
| 4 | 1/17（土）～18 日（日） | トランポリン公認コーチ講習会 | 宮城県石越町 |
| 5 | 1/31（土）～2/1（日） | トランポリン公認コーチ講習会 | 福岡県北九州市 |

**①現状分析**

JGA トランポリン公認コーチ講習会の人数は昨年より受講者が増加している。JSPO公認コーチ受講者は、年々減少傾向にある。今年度はコーチ研修会の開催ができなかった。本事業を継続的なものとするため、事業内容を吟味し、魅力あるものになるよう引き続き検討していきたい。

**B. 2026 年度事業計画**

**①2026 年度達成目標**

JGA公認コーチ受講者は全国 5 か所 50 名の認定を目標とする。JSPO公認コーチ受講者は 40 名の受講を目標とする。

**②戦略課題**

JGA コーチ講習会開催の要望が少ない。JSPO コーチ講習会の若手指導者の受講が少ない。

**③課題解決のための戦略及び実行計画（アクションプラン）**

未普及県へのコーチ講習会開催を促し、近隣県への参加をうながす。経験豊富な指導者は、ほぼ JSPO 資格を取得していることから、大学関係者と連携し、大学生選手の JSPO コーチ受講を促し、若手指導者の受講数増加につなげる。

**④計画・実施・検証・見直しのプロセス**

4 月にミーティングを行い部の計画を共有し、9 月に現状分析を行い問題点と課題を整理し、11 月に見直しを行う。

**⑤　年間スケジュール**

＜トランポリン　2026年度事業計画＞

| No. | 日　程 | 事　業 | 会　場 |
|---|---|---|---|
| 1 | 4/1（水）～<br>2027 年 3/31（水） | トランポリンコーチ認定講習会 | 全国各地 |
| 2 | 5/30（土） | トランポリンコーチ研修会（中央） | 未定 |
| 3 | 5/31（日） | トランポリンコーチ育成部会議 | 未定 |
| 4 | 11/14（土）～15 日（日） | 国体普及イベントコーチ派遣 | 未普及県 |
| 5 | 12/5（土）～6 日（日） | 養成講師認定講習会 | 未定 |
| 6 | 未定 | JSPO 公認コーチ 3 専門科目講習会 | JISS、NTC |

# 安　全　環　境　委　員　会



安全環境委員会委員長
川人　亜矢子

## 2025 年度　活動報告

1．安全対策についての活動報告

下記事項について委員会にて企画・検討を実施

① 傷害予防に関する情報開示に向けた内容検討

- 脊髄損傷
- 脳震盪
- 女性アスリートの 3 主徴（エネルギー不足・無月経・骨粗しょう症）
- 腰椎分離症

② 有識者への原稿執筆依頼についての企画・検討

- 取り組みの概要や目的を情報医科学アンチドーピング委員会と共有
- 原稿依頼方法等の検討（依頼作業・原稿料・提出期限・校正作業　等）

③ JGA 主催ではない大会やイベント等で発生した事故の対応について検討

2．環境保全についての活動報告

① 日本体操協会主催大会にて下記事項を実施

- ✧ 大会パンフレット等への環境ポスターの掲示
- ✧ 大会会場への環境横断幕の掲示
- ✧ 大会会場でのごみの分別
- ✧ マイボトル推奨活動(ペットボトル削減)







② 環境カンファレンスへの参加

- ✧ 9/29（月）：サステナビリティカンファレンス 2025（主催：日本財団 HEROs PLEDGE 事務局）
- ✧ 12/3（水）：令和 7 年度スポーツと環境カンファレンス（主催：JSPO・JOC）

# 情報医科学アンチ・ドーピング委員会



情報医科学アンチ・ドーピング委員会委員長
立花　泰則

A. 2025 年度の事業報告

【医事専門部会（医事部・トレーナー部）】

●2025 年度の JGA 主催競技大会への会場救護派遣

| 派遣大会数 | 派遣した日数 | 派遣医師数 | 派遣トレーナー数 |
|---|---|---|---|
| 13 大会 | 47 日 | のべ 48 名 | のべ 17 名 |

●JGA 主要競技大会名

〈体操競技〉

第 79 回体操天皇杯・全日本体操個人総合選手権大会
第 64 回NHK杯体操
第 79 回全日本体操団体・種目別選手権大会

〈新体操〉

第 23 回全日本新体操ユースチャンピオンシップ、第 16 回男子新体操団体選手権
第 78 回全日本新体操選手権大会
第 43 回全日本ジュニア新体操選手権大会

〈トランポリン〉

2025 ワールドゲームズシンクロナイズド競技女子選考会
第 12 回全日本トランポリン競技年齢別選手権大会
第 11 回全日本トランポリン競技ジュニア選手権大会
2025 川崎トランポリンジャパンオープン
第 12 回全日本タンブリングダブルミニトランポリン競技年齢別選手権大会

〈GfA〉

2025 日本体操祭

〈パルクール〉

2025 全日本 PK 選手権大会

☆　5 種別（GY,RG,TRA,GFA,PK）の主要大会への医師派遣およびトレーナー派遣を行うにあたり、医師及びトレーの確保が必要になる。また、謝金の費用面においても、医師などに委員会に属して頂く事で、謝金の額を JGA 謝金額で対応して頂いている。また、加盟団体である AER の大会においては、ドーピング検査等でも連携を図り、競技会内検査のスムーズな実施に向けて、医事部と連携を図り実施した。引き続き、本協会の運営にご協力頂ける医師、トレーナーを確保しながら、会場救護派遣等の対応をしていきたい。

# 情報医科学アンチ・ドーピング委員会

【アンチ・ドーピング専門部会】

●2025 年度　JGA 主催競技会内における競技会内ドーピング検査を下記のとおり実施した。

| # | 大 会 名 |
|---|---|
| 1 | 天皇杯 第 79 回全日本体操個人総合選手権 |
| 2 | 第 64 回 NHK 杯 |
| 3 | ススキワールドカップ 2025　第 36 回エアロビック世界大会 |
| 4 | 第 62 回全日本トランポリン競技選手権大会 |
| 5 | 第 78 回全日本新体操選手権大会 |

※検査実施数等については、JADA の HP 内、国内のドーピング検査統計を参照のこと。

●2025 年度　JADA-RTP アスリートについて
体操、新体操、トランポリンのアスリートにおいて、下記の選手数が JADA-RTP に指定されている。

〇JADA-RTP 数　＝　総数21名

※RTP/TP に指定されている選手は、指定されている期限内に居場所情報提出を行うこと。
また、記載事項に変更が生じた際は、速やかに変更を行うこと。

〇検査未了選手について

現在、4名の検査未了選手がいる（ペナルティー4名共に　累計 1 回）。

※検査未了（Missed　Test）とは、
➢対象日に、居場所情報提出で指定された 60 分の時間枠にて、特定された場所および時間において行われる検査に、競技者が応じない（検査員と選手が合えなかった場合含む）ことをいう。

※検査未了（Missed　Test）と提出義務違反（Filing　Failure）の合算で、12 か月の間に累計3回となると、居場所情報関連義務違反となり、2 年間の資格停止となる可能性がある。

※新制度における RTP/TP 登録の見直し時期について
➢基本的に四半期ごとに JADA で見直しを行っていくものの、大幅な見直しは年に 1 回程度行われる。

●未成年競技者のドーピング検査実施時における、親権者から同意書を取りつける件について
～WADA コード改定に伴う、未成年競技者のドーピング検査実施時に、親権者から同意書を取りつける～

◯未成年競技者に対して、該当する未成年競技者の親権者から事前にドーピング検査に同意する旨を取り付ける事になっている（すでに平成 28 年度より実施）。
◯JGA 主催競技会及び国体の競技会において、未成年選手の親権者からドーピング検査の同意書を提出して頂いている（大会要項記載済み）。
◯未成年競技者は、20 歳未満から 18 歳未満に変更（2018 年 4 月から実施）となった。
◯一度提出をしたら、親権者が変更になるなどの理由がない限り再提出の必要はない。

☆各種別ともに、年に1度は、アンチ・ドーピングに関する講習会を受講し、アンチ・ドーピングに関する理解を深め、違反者が出ない様にしていくことが大切である。できればジュニアカテゴリー選手にも、何らかの講習会を実施し、啓もう教育・知識の伝達をすることが望ましい。また、親権者同意書については、各大会の要項に記載して頂き、問題なく運用されていると考える。
また、アンチ・ドーピング活動において、何らかの問題が生じた場合は、本委員会のドクター、薬剤師あるいは JADA と連携を図り問題を解決していく。

【情報科学専門部会　研究部】

●映像・情報収集のため、研究部の委員を派遣した大会

・第 79 回全日本体操個人総合選手権
・第 64 回 NHK 杯体操選手権大会
・2025 年度全日本ジュニア体操競技選手権大会 東西決勝大会（A・B・C クラス）
・2025 年度全日本ジュニア体操競技選手権大会（1 部・2 部）
・第 79 回全日本体操団体選手権・全日本体操種目別選手権

●研究部の委員を派遣した強化合宿
・体操女子ジュニア強化合宿

●研究部報の制作
・研究部報 第 132 号（9 月末日発行となっていますが，12 月 1 日，発行直前の段階です）

【情報科学専門部会　栄養部】
●「JISS 医科学支援」を活用した栄養講習会を下記のとおり実施した。
◆ 9 月 6 日
・女子体操　シニア「女性アスリートの健康と食事の基本」
※中学 1 年生～高校 1 年生（強化部主催ナショナルトライアウト参加者）を対象に女性アスリートの健康と食事の基本について講習

◆ 9 月 7 日
女子体操　ジュニア「女性アスリートの健康と食事の基本」
※小学 5 年生～中学 1 年生（強化部主催ナショナルオーディション参加者）を対象に女性アスリートの健康と食事の基本について講習

◆ 10 月 3 日
男子体操　ナショナル「遠征時の食事の整え方」
※世界選手権（ジャカルタ）の現地情報、食事や水の注意点、リカバリーについて講義

◆ 11 月 12 日
新体操　ナショナル「アスリートとしての基本の食事」
※フェアリー選手に対して審美系競技の選手に特に注意が必要な点、期分けによる食事の注意点を講義

【情報科学専門部会　心理部】
●昨年度末にメンタルヘルスに関する（体操競技）全体の実態調査を行うための事前ヒアリングを実施した。このヒアリング結果をもとに、メンタルヘルスに係る諸問題を分析し、全体的な実態調査を実施できるようにしたい。

【情報科学専門部会　科学部】
●コロナ禍以前に JISS で実施をしていた男子ジュニアに対する各種測定（3D 形態測定、フォースプレート等を使った倒立測定など）や、関節可動域測定、怪我と痛みの相談、心理に係るアンケート等を実施し、ジュニア育成・強化に資するサポート体制を再度検討する。

【情報科学専門部会　情報部】
●本年度から、スポーツキャリアサポートコンソーシアム、スポ庁の業務委託先が変更となり、これまでのような活動が出来ない状況である。新委託先の活動の方向性を見極めながら、選手のキャリア支援、デュアルキャリア教育等に関して進めていく。

# 総　務　委　員　会



総務委員会委員長

髙橋　孝徳

A. 2025 年の事業報告

1. 受賞関連

【平沼賞】該当者なし

【栄光賞】11名

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 角皆友晴 | 杉原愛子 | 田口久乃 | 西本愛実 | 花村夏実 | 三好初音 |
| 松本悠生 | 宮野隼人 | 櫻井愛菜 | 田中沙季 | 三澤優華 | |

【功労賞】18 名

| | | |
|---|---|---|
| 大橋　英記（北海道） | 石川　信雄（宮城） | 太田　英一（山形） |
| 金井ムツ子（東京） | 長田　幸子（栃木） | 柴野　秀夫（群馬） |
| 前田　節夫（愛知） | 望月　克己（静岡） | 根本　忠　（新潟） |
| 平井　義明（富山） | 東　美孝（奈良） | 友松　正伸（兵庫） |
| 田坂　利明（広島） | 難波　千乃（岡山） | 中矢まゆみ（高知） |
| 木原　奉文　（佐賀） | 海老原　郷士（宮崎） | |
| プレスリー明日香（大会事業） | 神保　幸次郎（GfA） | 加藤　裕之（シニア連盟） |
| 山本　宜史（協会） | 遠藤　幸一（協会） | |

2025 年優秀選手

【最優秀選手】

橋本大輝　※ 体操世界選手権個人総合3連覇

鈴木歩佳、稲木李菜子、田口久乃、西本愛実、花村夏実、三好初音

※　新体操世界選手権団体日本史上初優勝

【優秀選手】

| | | | |
|---|---|---|---|
| 角皆友晴（MAG） | 杉原愛子（WAG） | 森ひかる（TRA） | 宮野隼人（TRA） |
| 田中沙季（TRA） | 櫻井愛菜（TRA） | 三澤優華（TRA） | 松本悠生（TRA） |
| 斉藤瑞己（AER） | 北爪凛々（AER） | 塩幡睦大（PK） | 永井音寧（PK） |

■ 新人

| | | |
|---|---|---|
| 南埜 佑芽（WAG） | 小島 埜和 MAG | 西山 実 WAG |

総　務　委　員　会

【優秀指導者】

| 対象者 | 備考 | 競技種別 |
|---|---|---|
| 齋藤　良宏 | 指導選手：橋本　大輝 | 体操競技男子 |
| 熨斗谷　さくら | 指導選手：新体操　フェアリージャパン | 新体操 |
| 大野　和邦 | 指導選手：杉原　愛子 | 体操競技女子 |
| Brian Camp | 指導選手：森　ひかる | トランポリン |
| 福井　卓也 | 指導選手：宮野　隼人 | トランポリン |
| 丸山　章子 | 指導選手：田中　沙季<br>指導選手：櫻井　愛菜 | トランポリン |
| 寺田　望七 | 指導選手：三澤　優華 | トランポリン |
| 横田　雄帆 | 指導選手：松本　悠生 | トランポリン |
| 杉原　良依 | 指導選手：北爪　凛々<br>指導選手：斉藤　瑞己 | エアロビクス |
| 梅本　英貴 | 指導選手：小島　埜和（新人） | 体操競技男子 |
| 山﨑　隆之 | 指導選手：南埜　佑芽（新人 | 体操競技女子） |
| 下村　実希 | 指導選手：西山　実沙（新人） | 体操競技女子 |

2．規律・監修・規程関連

- 倫理規程
- コンプライアンス規程
- 理念・使命・行動規範
- 日本代表選手・役員の心得
- 日本代表選手・役員　対外活動ガイドライン
- 表彰規程
- 登録規程

3．その他

・2025 年祝勝会

開催日：2026 年2月2日

会　場：オリンピックスクエア 14 階

・2025 年度「全国代表者連絡会議」および「協会三賞表彰式」

開催日時：2026 年2月 14 日（土）12 時 00 分～16 時 30 分

開催形式：実会場およびオンラインによるハイブリッド形式

開催会場：大崎ブライトコアホール

・新行動規範「代表の心得」研修

2026 年 1 月 13 日　男子体操種目別選抜合宿　NTC

2026 年 2 月 15 日　全種別合同研修会　NTC

# 総　務　委　員　会

現状分析

今年度、主要な規程等について見直しおよび改定を実施した。とりわけ、日本代表選手の行動規範は新たに再構成し、対象を代表選手に限らず、協会に関わるすべての関係者とした。あわせて、理念から使命、行動指針、行動規範、日本代表選手・役員の心得へと体系的に整理する構成とした。

この作成に伴い、他の規程等についても関連箇所の見直し・修正を行ったが、環境の変化や価値観の多様化を踏まえると、現状と必ずしも整合していない箇所がなお多く見られる。今後も、制度・規律の見直しを継続的に進めていくことが求められる。

また、現行規程では十分に想定されていない新たな課題（LGBTQ 等）にも対応していく必要がある。一方で、整理の方向性や着地点が不明瞭な案件もあるため、情報収集や他団体の対応状況の把握、専門家との協議を進めながら検討を深めていく。

さらに、新行動規範は制定して終わりではなく、多くの関係者に認知していただき、日々の行動に反映してもらうことが重要である。そのため、今後は普及・浸透に努めるとともに、要望があれば各所へ出向いて研修等を実施し、理解促進と運用の定着を図っていきたい。

B. 2026 年度事業計画

- 各規程の再調査、再検証を随時実施
- 部署を越えた案件への対応（都度）
- 新行動規範の講習（各地域による要望に応じて）

# 男 子 新 体 操 委 員 会





男子新体操委員会委員長
山田　小太郎

A. 2025 年度の事業報告

・2025 年度は男子新体操界にとって大きな変化の年であった。まずは競技ルールが大きく見直され、長く続いてきた男子団体 6 人制から 5 人制へと正式移行に加え、団体競技時間の短縮や個人団体共に従来の採点ルール（D（構成）、E（実施））をより細分化し（D（難度）、A（芸術と多様性）、E（実施））新たな採点方式のもと競技が採点された。現場では新ルールに対応すべく努力を重ね特段の混乱をきたすことなく締めくくれたことは関係者一同の尽力があったからこそと感謝している

・本年度は粉末状の炭酸マグネシウムの使用については禁止（体操協会主催大会）としたが、現場からの意見や一年間を通して試合の状況を鑑みるに検討の余地が残る結果であった
・国民スポーツ大会が復活し2年目を迎えた。男女共に大会を実施できる喜びを関係者一同享受できたものと捉えている

・今年度の委員会実施事業については下記の表のとおりである

| 月 | 期日 | 事業名 | 場所・会場名 |
|---|---|---|---|
| 2025・12 | 20.21 | 新体操男子第1種公認審判員認定講習会<br>一種審判保留解除講習会 | OKBアリーナ |
| 2026・1 | 17.18 | 男子新体操全国指導者選手合同合宿① | 西日本（場所未定） |
| 2026・2 | 7.8 | 男子新体操全国指導者選手合同合宿② | 東日本（国士舘大学） |
| 2026・2 | 7.8 | 第2回一種審判保留解除講習会<br>男子新体操ルール講習 | 国士舘大学 |

Gymnastics for All 委員会



Gymnastics for All 委員会委員長
伊藤 由美子

**【2025 年度の事業報告】**

**➢ 主たる事業の現状分析は以下のとおり**

**1. 指導員養成事業**

高齢者体操指導員資格養成講習の受講者数は前年度と比較して増加した．一方，Gymnastics for All 指導員養成講習会（東京会場）の受講者数は前年度と比較し減少した．

| | 事業名 | 受講者数 | | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| | | 2024 年度 | 2025 年度 | |
| 1 | 高齢者体操指導員資格養成講習 | 87 | 117 | （＋） |
| 2 | Gymnastics for All 指導員養成講習会 東京会場 | 53 | 19 | （－） |
| 3 | Gymnastics for All 指導員養成講習会 愛知会場 | 53 | 前年同様予定 | 2026 年 2 月末開催 |

単位： 名

**2. 日本体操祭＆Japan Challenge**

本イベントの参加チーム数および参加者数は，前年度と比較して若干減少した．

| | 2024 年度 | 2025 年度 | 備考 |
|---|---|---|---|
| チーム数 | 65 | 63 | （－） |
| 人数 | 1,763 | 1,737 | （－） |

※チケットおよび撮影許可証 収入：（＋）

**3.（公財）日本体操協会公認 体操プログラム「The Taiso」の普及**

・ 国民スポーツ大会（滋賀県）や，日本体操祭，当委員会主催の講習会等において「The Taiso」を実施した．

・ 2025 年 11 月 13 日，高市早苗内閣総理大臣とシティヴェニ・リンガママンダ・ランブカ・フィジー共和国首相による首脳会談が行われた．日・フィジー「ロマヴァタ・キズナ・パートナーシップ」設立に関する共同声明におけるスポーツ交流の分野では，以下の内容が記された．

共同声明 19：*――――――――日本体操協会やフィジー国立スポーツ協会等の関係機関の間で、「The Taiso」プログラムを通じたフィジー国民の健康及び幸福増進のための協力における進展を歓迎する。*

**4. 国外における体操祭参加実績**

| 事業名 | 開催月・場所 | | 参加チーム | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| DTB International German Turnfest 2025 | 5 月 | ライプツィヒ | T.G.S | |
| | | | 日本体育大学 体操部 | |
| FIG World Gym for Life Challenge 2025<br>※コンテスト形式 | 7 月 | リスボン | 筑波大学 体操部 | ゴールド受賞 |
| | | | 新潟大学 リズム体操部 | シルバー受賞 |

Gymnastics for All 委員会

## 2025 年度 事業報告一覧

| 月 | 日 | 事業内容 | 場所 |
|---|---|---|---|
| 4 | 15(火) | Gymnastics Communication(G.C. No.39)発行 | ー |
| 5 | 28(水)-1(日) | ドイツ国際体操祭 | ライプツィヒ(ドイツ) |
| 6 | 29(日) | 2025日本体操祭 & Japan Challenge 参加団体代表者会議 | 日本体育大学 世田谷キャンパス |
| 7 | 1(火) | 高齢者体操指導員資格養成講習 | オンライン |
| 7 | 22(火)-26(土) | 第5回 World Gym for Life Challenge | リスボン(ポルトガル) |
| 9 | 1(月) | 高齢者体操指導員資格養成講習 | オンライン |
| 9 | 27(土)-28(日) | (公財)日本体操協会公認 Gymnastics for All 指導員養成講習会 | 日本体育大学 世田谷キャンパス |
| 11 | 16(日) | 2025日本体操祭 & Japan Challenge | 国立代々木競技場 第一体育館 |
| 12 | 1(月) | 高齢者体操指導員資格養成講習 | オンライン |
| 2 | 28(土)-3／1(日) | (公財)日本体操協会公認 Gymnastics for All 指導員養成講習会 | 名城大学 八事キャンパス |
| 3 | 28(土) | 2025年度 Gymnastics for All 登録団体代表者会議 | 日本体育大学 世田谷キャンパス |

■各地における体操祭

| 月 | 日 | 事業内容 | 場所 |
|---|---|---|---|
| 5 | 17(土) | 令和7年度 県民総合スポーツ大会 兼 第38回 埼玉県一般体操演技発表会 | 上尾運動公園体育館 |
| 8 | 31(日) | 第19回 福井県一般体操フェスティバル | 鯖江市総合体育館 |
| 9 | 23(火・祝) | みえスポーツフェスティバル2025 健康体操大会 兼 第37回 三重体操祭 | クラギ文化ホール(松阪市民文化会館) |
| 10 | 4(土) | 第18回 京都体操祭－GYMSBEAT'25－ 兼 第27回かめおか体操祭 | 亀岡市運動公園体育館 |
| 10 | 5(日) | 第22回 くまもと体操フェスティバル2025 | 熊本県立総合体育館 |
| 10 | 13(月・祝) | 第21回 福岡県体操祭 | 福岡市総合体育館(照葉積水アリーナ) メインアリーナ |
| 10 | 13(月・祝) | 第9回 かがわ体操祭2025 | 高松市総合体育館 |
| 10 | 18(土) | 体操フェスティバル ヨコハマ2025 | 横浜武道館 アリーナ |
| 10 | 19(日) | 2025まちだ体操祭 | 町田市立総合体育館メインアリーナ |
| 10 | 25(土) | 第34回 体操フェスティバルかわさき2025 | カルッツかわさき |
| 10 | 18(土) | 第16回 上越体操祭 | 上越市総合体育館 |
| 11 | 9(日) | 2025体操フェスティバル in ほっかいどう | 北翔大学第一体育館 |
| 11 | 23(日) | わくわく体操フェスティバル 第18回 高知県体操祭 兼 第71回 体操とダンスの発表会 | 土佐市立市民体育館 |
| 11 | 24(月・祝) | 第32回 体操フェスティバル2025NARA | ロートアリーナ奈良 |
| 11 | 29(土) | 第13回 Gym Sports Festa 2025(相模原市体操祭) | 相模原ギオンアリーナ |
| 11 | 30(日) | 第19回 おおさか体操祭2025 兼 府民スポーツ・レクリエーションフェスティバル | J:COM末広体育館 |
| 12 | 7(日) | 第33回 2025かごしま体操フェスティバル | 鹿児島県総合体育センター体育館 |
| 12 | 21(日) | 第20回 みやざき体操祭 | 宮崎県体育館 |
| 12 | 13(土) | 第3回 わかやま体操祭 | 和歌山ビックホエール |
| 12 | 14(日) | 第15回 静岡県体操祭 一般体操の部 | 静岡市中央体育館 |
| 12 | 21(日) | 第18回 とくしま体操祭 | 小松島市立体育館 |
| 2 | 14(土) | 第31回 つくば体操フェスティバル | つくばカピオ アリーナ |
| 2 | 22(日) | 第11回 沖縄体操祭～ダンス・スポーツちゃんぷる－～ | 沖縄県総合運動公園体育館メインアリーナ |
| 2 | 23(月・祝) | ひろしまFUN²フェスタ2025 | 広島市中区スポーツセンター |
| 3 | 15(日) | 第56回 健康のための体操発表会 | ドルフィンズアリーナ(愛知県体育館) |
| 3 | 20(金・祝) | 晴れの国 おかやま体操祭2025 | ジップアリーナ岡山 |
| 3 | 21(土) | 第20回 一般体操フェスティバル in 鳥取 | 鳥取県立米子産業体育館 |
| 中止 | 会場改修のため | 第14回 やまぐち体操フェスティバル(2025年度 一般体操祭) | |
| 中止 | | 第21回 佐賀県ときめき体操フェスティバル | |

パ ル ク ー ル 委 員 会



パルクール委員会 委員長
荒本　英世

**A.2025年度 事業報告（時系列順）**

1. ネクストジェン強化合宿（第1回）
- 日程：2025年5月3日～5月5日
- 場所：山口県宇部市
- 参加者：選手14名／コーチ・スタッフ4名

2. 第6回日本選手権予選 / ネクストジェン選考会予選
- 日程：2025年4月18日～20日
- 場所：広島県広島市

日本選手権予選
- 女子スピード：12名
- 女子フリースタイル：7名
- 男子スピード：34名
- 男子フリースタイル：28名

ネクストジェン選考会予選
- ジュニア女子：S8 / F8
- U13女子：S9 / F8
- U10女子：S2 / F1
- U10男子：S14 / F7
- U13男子：S21 / F15
- ジュニア男子：S24 / F13

3 FIGワールドカップ アムステルダム大会（派遣）
- 日程：2025年5月16日～18日
- 場所：オランダ・アムステルダム
- 女子FS：1名派遣（FIG招待）→ 7位、次戦招待獲得
- 男子FS：1名派遣（FIG招待）→ 3位、次戦招待獲得

4 FIGワールドカップ モンペリエ大会（派遣）
- 日程：2025年5月30日～6月1日
- 女子FS1名派遣（招待）：4位
- 男子FS1名派遣（招待）：4位

5 ネクストジェン強化合宿（第2回）
- 日程：2025年8月9日～11日
- 場所：山口県宇部市
- 参加者：選手14名／コーチ・スタッフ4名

6 ワールドゲームズ（派遣）

- 日程：2025年7月8日～8月17日
- 場所：中国・成都
- 女子FS1名派遣：1名 → 銀メダル（2位）
- 男子FS1名派遣：1名 → 金メダル（1位）

7. 公認審判員認定講習会（第1回）

- 日程：2025年9月6日～7日
- 形式：オンライン
- 参加者：7名
- 結果：公認審判総数 11名に到達

8. ネクストジェン強化合宿（第3回）

- 日程：2025年9月13日～15日
- 場所：山口県宇部市
- 参加者：選手14名／コーチ・スタッフ4名

9. 日本選手権決勝

- 日程：2025年10月11日～13日
- 場所：東京都江東区・有明
- 女子スピード：7名
- 男子スピード：25名
- 女子フリースタイル：5名
- 男子フリースタイル：23名

10. ネクストジェン選考会決勝

- 日程：2025年10月11日～13日
- 場所：東京都江東区・有明
- U10女子：S2 / F1
- U13女子：S8 / F8
- ジュニア女子：S7 / F8
- U10男子：S9
- U13男子：S10 / F10
- ジュニア男子：S10 / F10

11. 第1回 AGUパルクールアジア選手権（派遣）

- 日程：2025年10月17日～20日
- 場所：ヨルダン・アンマン
- ジュニア男子 FS/S：1名派遣 → FS1位／S1位
- 男子 FS/S：1名派遣 → FS3位／S4位
- 女子 FS/S：1名派遣→ FS1位／S1位

12. ネクストジェン強化合宿（第4回）

- 日程：2025年11月22日～24日
- 場所：山口県宇部市
- 参加者：選手13名／コーチ・スタッフ4名

パ ル ク ー ル 委 員 会

現状分析

- 国内大会が安定的に実施され、競技人口・技術水準ともに上昇している。
- 国際大会でフリースタイルは世界トップレベルに到達。
- 一方で スピード競技の体力・体格要件を満たす選手の育成が課題。
- 国際基準の会場設営は可能だが、国際規模の審判人数が不足しており、引き続き資格認定を推進する必要がある。

# トランポリン委員会



トランポリン委員会委員長
福井　卓也

A. 2025 年度の事業報告

＜トランポリン委員会　競技検定部＞

| No. | 日　程 | 事　業 | 会　場 |
|---|---|---|---|
| 1 | 4 月 25 日（金） | 会議 | オンライン |
| 2 | 8 月 31 日（日） | 競技検定 | 埼玉県久喜市<br>（CORE　Village） |
| 3 | 9 月 06 日（土） | 競技検定 | 埼玉県所沢市<br>（所沢市民体育館） |
| 4 | 3 月 01 日（日） | 競技検定（予定） | 愛知県犬山市<br>（エナジーサポートアリーナ） |

＜トランポリン委員会　普及指導員育成部＞

| No. | 日　程 | 事　業 | 会　場 |
|---|---|---|---|
| 1 | 8/9（土）～8/10（日） | 公認普及指導員認定講習会 | 神奈川県厚木市/厚木市荻野運動公園体育館 |
| 2 | 8/9（土）～8/10（日） | 公認普及指導員認定講習会 | 茨城県守谷市/もりや学びの里体育館 |
| 3 | 8/9（土）～8/10（日） | 公認普及指導員認定講習会 | 東京都江戸川区/江戸川区総合体育館・タワーホール船堀 |
| 4 | 8/10（日）～8/11（月） | 公認普及指導員認定講習会 | 京都府長岡京市/西山公園体育館 |
| 5 | 10/4(土)～10/5（日） | 公認普及指導員認定講習会 | 北海道北見市/北見工業大学 |
| 6 | 11/29（土）～11/30(日) | 公認普及指導員認定講習会 | 長野県白馬村/白馬村共和ウィング21 多目的研修室・源太郎ジム |
| 7 | 10/5(日)　　中止 | パーク向け普及指導員認定講習会 | 埼玉県草加市/草加市市民体育館 |

（普及指導員認定講習会　6会場　　42名認定　11 月17日現在）

＜トランポリン委員会　バッジテスト部＞

| No. | 日　程 | 事　業 | 会　場 |
|---|---|---|---|
| 1 | 4 月 | バッジテスト | 0 |
| 2 | 5 月 | バッジテスト | 0 |
| 3 | 6 月 | バッジテスト | 0 |
| 4 | 7 月 | バッジテスト | 22 |

# トランポリン委員会

| | | | |
|---|---|---|---|
| 5 | 8 月 | バッジテスト | 11 |
| 6 | 9 月 | バッジテスト | 18 |
| 7 | 10 月 | バッジテスト | 6 |
| 8 | 11 月 | バッジテスト | 9 |
| 9 | 12 月 | バッジテスト | |

全国 66 会場 5026 名合格 （令和 7 年 10 月末現在）

＜トランポリン委員会 シャトル競技部＞

| No. | 日 程 | 事 業 | 会 場 |
|---|---|---|---|
| 1 | 10 月 25 日(土)～<br>10 月 26 日(日) | 2025 年全国トランポリン・シャトル競技大会 in 石川大会 | 石川県野々市市<br>野々市市民体育館 |

＜トランポリン委員会 障がい者トランポリン部＞

| No. | 日 程 | 事 業 | 会 場 |
|---|---|---|---|
| 1 | 10 月5日（日） | 障がいのある選手の海外大会派遣 | Telford International Centre |
| 2 | 10 月 11 日（土） | 全国障がい者トランポリン指導者研修会 | 最低開催人数に満たなかったため中止 |
| 3 | 2月 21 日（土） | 全国スペシャルトランポリン交流大会 | 全国スペシャルトランポリン交流大会実行委員会にて実施する |
| 4 | 未定 | 障がいのあるトランポリン・プレーヤーの実態調査 | |

① 現状分析

競技検定は昨年 5 会場から 3 会場へと減少した。普及指導員講習会の人数は昨年並みであった。バッジテストの受験数は昨年度 4,760 名より 5026 名へと 6%増加した。全国シャトル大会は、委員会主催事業ではなく、後援事業として開催した。障がい者トランポリン部は、British Championships に 3 名の選手を派遣することができた。本事業を継続的なものとするため、事業を引き続き検討していきたい。

# 器　械　器　具　委　員　会



器械器具委員会委員長

梅田　秀一

A.　2025 年度の事業報告

1.　新規器械器具の認定申請　　1件（TRA スポッターマット）

2.　検定品登録会社継続申請　　昨年度同様

| 社名 | 住所 | 状況 | 登録会社種類 |
|---|---|---|---|
| セノー株式会社 | 千葉県松戸市松飛台 250 番地 | 継続 | 登録会社 1 |
| 株式会社イーグル | 千葉県流山市南流山 2 丁目 10-1-101 | 継続 | 登録会社 2 |
| 株式会社小川長春館 | 広島県福山市引野町 5-4-23 | 継続 | 登録会社 2 |
| 株式会社都村製作所 | 香川県仲多度郡琴平町榎井 590 | 継続 | 登録会社 2 |
| 吉田体機工業株式会社 | 大阪府大阪市阿倍野区松虫通 3 丁目 8-4 | 継続 | 登録会社 2 |
| 合同会社学体舎 | 大阪府吹田市青葉丘北 6-2 | 継続 | 登録会社 3 |

①　現状分析

FIG/Apparatus Norms の日本語翻訳版が無く、このドキュメント内には、器械器具の詳細な規格だけでなく、競技会開催時のセクションごとに必要な器械器具・用具の種類なども定められている。現状の運用として、器械器具自体の規格自体は FIG 認定品をそのまま採用しているため早急な対応は不要と考える。しかし、競技会開催時に必要な器械器具・用具に関しては、国民スポーツ大会や本会主催大会を各地方で開催する場合に、開催都道府県より準備物品の問い合わせが多数あり、その取り決めは早急に対応する必要がある。

B.　2026 年度の事業計画

①　F.I.G 規格の翻訳および国内事情に合わせた規定の作成

②　委員のマンパワー不足もあり、停滞している。

③　F.I.G 規格の翻訳チームを作り、対応にあたる事とし、以下の様にフェーズごとに目標を定める。

（内容については今後調整）

フェーズ1.　作業範囲の決定と作業単位の確立（ドキュメント全体を分解し優先度を決める）

フェーズ2.　スケジュール、マイルストーンの設定

フェーズ3.　チーム構成の設計（例：種別ごとのリーダー、翻訳担当、整理編集など）

フェーズ4.　メンバーの選定

フェーズ5.　初回翻訳（完璧な翻訳を目指さない）

フェーズ6.　1 で懸案とした部分の協議と翻訳

# 広　報　委　員　会



広報委員会委員長
遠藤　幸一

事務局交付担当のサポート、専門アドバイザーを主目的に
広報人材発掘と育成を進める委員会

A. 2025 年度の事業報告
　事務局広報担当による各種メディア対応（記者会見・報道対応）・プレスリリース
　各強化本部インスタグラム立ち上げ（2025 年 9 月末）

# マーケティング委員会



マーケティング委員会委員長
佐久間　裕司

## A. 2025 年度の事業報告

① 現状分析

今年度設置された新しい委員会であり、従前の組織から業務内容やノウハウなどの継承されるものが何もないところから動き始めた。しかし、本会の財政的な現状を鑑みればとにかく収入を増やし、事業遂行に必要十分たる財源を確保し、選手や委員、職員の負担を軽減すべくあらゆる方策が第一義となることは明白である。

現在、マーケティング向上のための課題を挙げ、早々に解決する必要がある事象から優先順位をつけて着手している。従来進めてきたマーケティング活動がどういう活動であったのかを調査・分析し、今後そして将来、どう進めていったらよいのか、活動内容、活動実績、ノウハウなどを記録として残していき、後継が委員会活動を速やかに把握し、更なる飛躍ができるよう基盤の整備を目指している。

課題は山積し、内容も多岐にわたるため、本来ならこの業務に特化できる複数の人材を配置する必要があり、可能なら専門家を雇用できれば理想である。

② 委員会活動

今期の委員会メンバーは以下である。*称略

委　員　長　佐久間　裕司（副会長）、副委員長　田中　光（広報副委員長）
委　　員　後藤　洋一（大会運営委員長）、山本　将之（財務委員長）
アドバイザー　槙　英俊（外部、株アリーナプロジェクト）、藤田　直志（会長）

マーケティングに精通した槙委員および藤田会長のご指導、ご助言をいただきながら目前の課題に向き合い、特に 2025 年度は以下の活動を中心に行っている。

a. **スポンサー関係　*契約のための必須条件の見直し**
- ・競技会会場のスポンサーロゴ・バナー等の掲出場所、露出機会の増加
- ・日本代表選手、強化指定選手の競技ユニフォーム、ウェア類のスポンサーロゴの配置検討
- ・スポンサー獲得、契約締結のための企業訪問（藤田会長、槙委員、伊藤職員）
- ・本会への金銭支援スキームの検討…金銭支援の区分を整理、オフィシャルサプライヤー以下の区分については、3,000 万円未満～100 万円の支援を対象として区分するなど明確な基準を検討

b. **主催競技会・イベント**　*2025 年度は体操競技を中心に展開
- ・インタビューボードのスポンサーロゴ、バナーの掲出場所の確認と調整
- ・各種販売（チケット、缶バッジ、撮影料、イヤホンガイド料、その他）

c. **テレビ放映、ネット配信の交渉**
- ・第 53 回世界体操競技選手権の日テレ放送交渉（藤田会長）
- ・第 79 回全日本体操団体・種目別選手権の CBC 放送ネット配信（事務局）

マ ー ケ テ ィ ン グ 委 員 会

**d. マーケティング関連規程・文書の整備**

・諸基準の見直し、文書化、各種規程との整合性検討

**e. その他**

・関連事項への対応や他団体イベントへの参加

# 国　際　事　業　委　員　会



国際事業委員会委員長

荒木達雄

## A.　2025 年度の事業報告

### a)　国際貢献事業（招聘合宿）

| 対象国 | 日程 | 場所 | 参加者 |
|---|---|---|---|
| キューバ | 8 月 3～10 日 | NTC | MAG 選手 3 名、<br>コーチ 1 名 |
| ウルグアイ | 9 月 14～23 日 | 東海大学 | MAG 選手 3 名、<br>コーチ 1 名、会長 |
| ミャンマー | 10 月 22～30 日 | 東海大学 | MAG 選手 1 名、<br>WAG 選手 2 名、<br>コーチ 1 名、<br>マネージャー1名、<br>会長 |
| マルタ | 2026 年 2 月 18 日<br>～2 月 26 日 | NTC | |

### b)　海外ナショナルチームの合宿受入れ

| 対象国 | 日程 | 場所 | 参加者 |
|---|---|---|---|
| インドネシア<br>※アジア選手権のための事前合宿 | 5 月 5 日<br>～6 月 2 日 | NTC | |
| インドネシア<br>※SEA Games2025 のための事前合宿 | 11 月 21 日<br>～12 月 6 日 | NTC | |
| カザフスタン<br>※世界選手権のための事前合宿 | 10 月 5～13 日 | NTC | MAG 選手 6 名、<br>コーチ 3 名、<br>ドクター1 名 |

### c)　コーチ派遣

| 対象国 | 日程 | 派遣者 |
|---|---|---|
| エルサルバドル | 8 月 24 日～9 月 4 日 | 立花泰則 |

d) Partnership 協定の締結

- ルワンダ（5 月 22 日締結）
- ミャンマー（11 月 4 日締結）

e) FIG 関連のイベント

- トランポリン国際審判研修会
  （英語名：Trampoline Gymnastics International Judges Course）
  20 名（日本からの参加者 9 名を含む）が参加
- FIG コーチアカデミー（レベル 2）（英語名：FIG Coach Academy Level 2）
  MAG19 名（日本からの参加者 5 名を含む）、WAG17 名（日本からの参加者 5 名を含む）が参加

f) 現状分析

2025 年度の本委員会の主な事業においては、招へい合宿として海外 4 か国のチームを受け入れたほか、海外ナショナルチーム 2 チームの事前合宿受入れを実施した。また、技術支援の一環としてコーチ派遣を行うとともに、継続的な国際連携の構築を目的とした Partnership 協定を 2 か国と締結した。さらに、FIG 関連イベントを 2 件実施し、国際競技力向上のための環境・機会の提供ならびに国際ネットワークの構築に資する事業を推進した。

国際事業委員会として発足して 1 年が経過し、基本的には昨年度までの運営を継続し、国際人の養成および体操（Gymnastics）を通じた国際社会への貢献を主要な軸として、委員会活動を推進している。今年度の予算は 0 からスタートしたが、JOC 補助金「IF 役員ポスト獲得支援事業」ならびに「スポーツ振興くじ助成金」（toto 助成）で運営された。中南米やアジア諸国からの、指導依頼や日本での合宿依頼に対応している。一部、相手国との希望日程の調整がつかなくなり、実施出来なかったが次年度に廻すことで調整された。これらは、相手国との日程調整が重要であり絶えず揺れ動いている。これらの懸案を、毎月の委員会で速やかな対応が出来た。

# コンプライアンス（推進）委員会



コンプライアンス委員会委員長
立花　泰則

A. 2025 年度の事業報告

●「通報窓口・懲戒委員会に関する手続きについて」を 2025 年 9 月 5 日付で改訂した。
これにより JGA への相談、通報から処分決定、通知までの流れを明確化した。
※詳細は、地域委員会でご説明します。
また、本委員会に係る規程である、コンプライアンス規程及び倫理規程の改訂をおこなった。

●JGA 相談窓口に寄せられた事案数は以下のとおりである。（2025 年 11 月 30 日現在）
JGA に通報があり調査等が行われた事案数：4 件（パワハラ事案）
＊昨年度相談件数 14 件（内委員会で対応した件数 3 件）
スポーツ仲裁機構事案数：1 件
その他の相談等の数：2 件

●強化と連携したコンプライアンス講習会については以下のとおりである。
1、TRA 男・女ナショナル選手および指導者を対象とした講習会(2025 年.7 月)
テーマ：「SNS の利活用および諸注意等について」
2、体操男子 種目別特別強化選手およびその指導者を対象とした講習会(2026 年 1 月)
テーマ：「日本代表としての心構え、SNS、スポンサーとのかかわり等」
3、新体操　ジュニア育成合宿に参加する帯同コーチおよび強化コーチを対象とした講習会（2026 年 2 月）
テーマ：「コンプライアンス講習会　～パワハラを未然に防ぐ～」

B. 2026 年度事業計画

1、2026 年度達成目標
【強化と連携したコンプライアンス講習会を実施しハラスメントを未然に防止する】
2、戦略課題
【予算の確保】
3、課題解決のための戦略及び実行計画
【年に 1 回以上各種別の合宿時にコンプライアンス講習会を実施する】
〇JGA 相談窓口に寄せられた事案の諸対応をおこなう。
➢本会の外部弁護士事務所である、ひなた総合法律事務所の先生方との連携
➢委員会メンバーとひなた総合法律事務所との連携
➢調査等の手続きを確実に実行

〇各強化と連携を図りハラスメント防止の講習会（指導者対象を含め）を実施する。
➢そのための弁護士謝金等の予算を確保
➢HPSC 内での研修室等の確保
➢研修内容は種別ごとの問題点を鑑み優先順位を付ける
➢強化コーチ関係者の所属コーチにも講習会を受講してもらうあり方に改革

# 地　域　委　員　会

2026 年度の目標は、JGA としての一つの目標であった、U-15 大会の初開催です。U-12 大会と合同で大会を行うので、参加人数、時程調整、また審判部とも会議の調整をしていく方向で進めていきます。また今年度より U-12 の参加人数が半分になるため、各ブロックからの参加枠の調整、そのためによる選手層の変化に対する対策を考察していく必要があります。

U-15 大会においては中体連との打ち合わせ、ジュニア強化部からの推薦制度の調整等、成功に導くためのプロセスを考えていきます。

ブロック代表者との会議、JGA との合同会議も進めていき、地方から本部へ、また本部から地方へと選手の拡充、強化を目標に色んな問題を解決していきたいと思います。

またジュニアブロック合宿の実施に向けて各ブロックと調整し、地方からの優秀な選手を発掘、選手育成を目標として継続していくように遂行していきます。

今後もジュニア強化のために、地方と連携をとり、ジュニア強化部、審判部とも連携をとってジュニアの発展に努めていきたいと思います。

令和８年度　地域委員会　活動計画（案）

| No | 日　程 | 事　業 | 会　場 |
|---|---|---|---|
| 1 | 5/16(土),17(日) | 第1回地域委員会 | 東京都体育館(NHK杯) |
| 2 | 9/12(土)、13(日) | 第80回国民スポーツ大会(新体操) | 青森県、弘前市 |
| 3 | 9/9(水) | 第80回国民スポーツ大会(トランポリン) | |
| 4 | 9/3(木)～6(日) | 第80回国民スポーツ大会(体操) | |
| 5 | 9/5(土) | 第1回ブロック代表者会議 | 青森県(国スポ) |
| 6 | 9/6(日) | ブロック代表・JGA合同会議 | 青森県(国スポ) |
| 7 | 未定 | 男子ジュニアナショナルトライアウト | ナショナルトレーニングセンター |
| 8 | 未定 | 女子ジュニアナショナルトライアウト | ナショナルトレーニングセンター |
| 9 | 11/6(金)～8(日) | 2026年全国ブロック選抜体操競技選手権大会(U-12、21回・U-15、1回) | 四日市相好アリーナ |
| 10 | 2/12(金) | 第2回地域委員会 | JSOS |
| 11 | 2/13(土) | 令和8年度　全国代表者連絡会議 | 未定 |
| 12 | 未定 | 女子ジュニアナショナルブロック強化合宿 | 未定 |
| 13 | 未定 | 男子ジュニアナショナルブロック強化合宿 | 未定 |
| 14 | 未定 | 全国選抜体操競技選手権 | 宮崎県 |

# 理念・使命・行動規範

公益財団法人 日本体操協会

## 1 理念

**「体操ですべての人に健やかさと希望を」**

私たちは体操の力を通じて人々の心身を健やかにし、未来への希望を育む社会の実現を目指します。

## 2 使命

**― with Gymnastics ― すべての人に、健やかさと希望をもたらす心動かす体験を。**

私たちが掲げる *with* には、「体操を通じて」生まれる魅力・感動・笑顔・達成・楽しみ・生きがい、そして平和を体操とともに実現していくという思いが込められています。

私たちは、体操という共通の身体文化を通じて、誰もが喜びを享受できる社会を目指します。

競技力の向上にとどまらず、心身の健やかさや地域とのつながり、そしてスポーツが持つ価値を大切にし、体操を通じて社会全体がより豊かになるよう努めます。

## 3 行動指針

1) 公正で透明な運営を徹底し、信頼される組織を築く。
2) 体操ファミリーが互いを尊重し、安心と信頼に満ちた組織風土を育む。
3) 地域をはじめ全ての関係者と連携し、誰もが参加しやすい体操環境を整える。
4) 体操を通じて健やかで豊かなスポーツライフを実現する。
5) 国際交流と挑戦を通じて、誇りと感動を分かち合い、世界の平和に貢献する。

## 4 行動規範

日本体操協会(以下、「本会」という)に関わるすべての人は、理念と使命を理解し、その実現のための自覚と責任をもって行動します。

一人ひとりが高い倫理意識を持ち、国際的な視野のもと、自己の成長を目指し、他者と良好な関係を築きながら健全な体操環境の形成に努めます。

**行動の5原則**

1) **誠実と責任　　“ルールを守り、誠実に行動し、責任を果たします”**
   法令や規則を遵守し、ドーピングやハラスメントを断固排除します。
   透明性をもって行動し、安心と信頼のある環境を守ります。

2) **敬意と感謝　　“人を尊重し、感謝を胸に、力を合わせます”**
   人権を尊重し、感謝を忘れず、円滑なコミュニケーションを大切にします。
   地域社会や国際社会との調和を築き、貢献します。

3) **学びと啓発　　“新しい知を求め、共に学び、高め合います”**
   常に最新の知見を取り入れ、技術や知識の向上に努めます。
   仲間と情報を共有し、相互に啓発し合い、体操界の発展に寄与します。

4) **挑戦と成長　　“前向きに挑み、努力を楽しみ、成長を続けます”**
   体操の特性を理解し、失敗を恐れず挑戦し続けます。
   経験から学びを得て、自身と組織の発展に活かします。

5) **国際交流と貢献　“体操を通じて世界とつながり、平和に貢献します”**
   国際大会や国際交流を通じて、多くの人々とのつながりを深めます。
   体操の価値を高め、世界平和に貢献します。

## 5 違反となる行為

1) ドーピング、ハラスメント、賭博、薬物乱用、暴力、反社会的勢力との関係など、本会の名誉や信頼を損なう行為。
2) 事実の隠蔽や虚偽の報告、虚偽の申請(経費・活動報告・成績報告等)。
3) 本会の業務、選考、財務、コンプライアンスなどの内部情報を許可なく外部への漏洩、または不正に利用する行為。
4) オンライン上(SNS 等)、報道機関等への対応(取材・会見・声明等)、および公の場での発言における、誹謗中傷、差別的表現、本会や関係者の信用を傷つける行為。
5) 社会通念に照らして不適切と判断される行為、または本会の理念・使命・行動規範に著しく反する行為。
6) 上記に明記されていない場合、本会倫理規程に準ずる。

## 6 違反への対応

違反した場合は本会倫理規程に基づき、適切な手続きを経て処分を科します。

令和７年12月19日　制定
令和７年12月20日　施行

# 日本代表選手・役員の心得

公益財団法人 日本体操協会

**趣旨**

「体操ニッポン」という称号は、先人たちの卓越した競技成績と品位ある行動によって築かれた、誇り高き伝統である。

日本代表選手および役員は、その誇りと伝統を継承し、日本体操協会（以下「本会」という）の「理念・使命・行動規範」を理解し、その精神を体現する存在でなければならない。

対象は、日本代表選手、ナショナルおよびジュニアを含む強化指定選手、監督、コーチ、トレーナー、審判員、帯同スタッフ、その他本会が指定する者とする。

**1 理念と使命の理解**

1) 日本代表としての自覚を持ち、法令・社会規範および本会の規程を遵守する。
2) ドーピング、ハラスメント、賭博、薬物乱用、暴力、反社会的勢力との関係を一切排除する。
3) 公私にわたり誠実に行動し、協会および競技の名誉を守る。

**2 公正な行動**

1) 本会やJOC、大会組織委員会等から支給されたユニフォーム・支給品は適切に管理・使用し、本会の許可なく転売や不正使用を行わない。
2) メディア対応・SNS発信・イベント参加等は定められたガイドラインに従う。
3) 金銭・物品・情報の取り扱いにおいて不正を行わず、公正な判断を貫く。

**3 敬意と感謝**

1) 国旗掲揚時には起立し、脱帽の上、国旗に対して敬意を表する。
2) 仲間、スタッフ、審判員、関係者等に敬意を払い、調和を大切にする。
3) 支援者、ファン、地域社会への感謝を忘れず、普及・発展活動に積極的に貢献する。

**4 節度と品位**

1) 公私にわたり節度を保ち、代表としてふさわしい生活態度を心がける。
2) 合宿や大会等では、集合時間および門限を遵守し、秩序ある行動をとる。
3) 身だしなみやユニフォームの着用に留意し、品位を保持する。
4) 飲酒は、合宿所や競技会場等では慎み、監督の許可のもとで節度を持つ。

**5 学びと啓発**

1) コンプライアンス、インテグリティ、アンチ・ドーピング、メディアリテラシー等の教育を定期的に受講し、理解を深める。
2) 所属先責任者にも本心得の趣旨を周知し、協力体制を構築する。
3) 環境保全（受動喫煙防止・廃棄物削減など）に配慮し、次世代の体操環境を守る。

**6 挑戦と成長**

1) 向上心を持ち、挑戦と学びを通じて競技力と人間力の成長を追求する。
2) 大会やイベントでは、最高のパフォーマンスを発揮できるよう最善を尽くす。

**7 国際理解と安全管理**

1) 海外遠征では現地の文化・慣習・法令を尊重し、国際的なルールやマナーに従う。
2) 主催団体・大会関係者への敬意を忘れず、協力を惜しまない。
3) 海外での移動・行動は安全を第一とし、複数人での行動を原則とする。
4) 合宿・大会・移動等においては、担当者・監督・帯同スタッフの指示に従い、行動計画を事前に共有する。
5) 緊急時には、速やかに監督または帯同スタッフへ連絡し、独断で行動しない。
6) 安全面・健康面で異常を感じた場合は、速やかに報告・相談を行い、適切な対応を受ける。

**8 違反と措置**

本心得および関連するガイドラインに違反、または社会通念上不適切と判断される行為を行った場合は、本会倫理規程等に基づき、適正な手続きを経て適切な措置を講じる。

**9 附則**

本心得は、本会の「理念・使命・行動規範」に基づき制定する。

令和7年12月19日 制定
令和7年12月20日 施行

# 日本代表選手・役員 対外活動ガイドライン

公益財団法人 日本体操協会

**趣旨**

本ガイドラインは、日本体操協会を代表して対外的な活動を行う者が、社会からの信頼と競技の品位を損なうことなく適切に行動することを目的として定めるものである。

日本代表選手および役員は、常に日本代表としての自覚を持ち、最高のパフォーマンスの発揮に努めるとともに、「体操ニッポン」の自覚を旨とし、体操の普及・発展と情報発信に心がけることが求められる。

本ガイドラインは、個々の主体性と自律的判断を尊重しつつ、対外活動における行動の基準を示すものであり、「理念・使命・行動規範」および「日本代表選手・役員の心得」と一体的に運用する。

対象は、日本代表選手、ナショナルおよびジュニアを含む強化指定選手、監督、コーチ、トレーナー、審判員、帯同スタッフ、その他本会が指定する者とする。

**1 メディア活動について**

1) メディア取材には体操の発展のため積極的に協力し、日本代表としての自覚をもって誠実かつ品位ある発言を行う。
2) メディアからの取材申請があった場合は、本会に事前に届出を行い、必要な場合は本会の許可を得たうえで対応する。個人として行う一般的な取材・コメントは、自律的判断を基本とする。
3) 他者やチーム、競技運営に対し、不当に批判したり、誤解を招く発言・表現を行ったりしてはならない。
4) スポンサーのマーケティング活動を阻害する言動を慎み、広報活動は本会の方針に従って行う。
5) 本会および所属団体、関係者に関する内部情報や未公開情報（チーム戦略、選考方針、他者の怪我・病状など、公表されていない情報や機密情報）を、許可なく明らかにしない。
6) 人種、民族、国籍、性別、宗教、障がい、性的指向等に関して、差別的またはハラスメントと受け取られる発言・表現を行わない。
7) 役員は、選手が主役であることを認識し、過度な露出を控える。

**2 SNS利用について**

1) SNS発信が持つ影響を自覚し、一度公開した情報は完全に削除できないことを理解のうえ、節度と責任をもって利用する。
2) 他者やチーム、競技運営に対し、不当に批判したり、誤解・偏見を招く投稿を行ったりしてはならない。
3) 意見表明を行う際は、一人称で発信し、自身の立場を明確にする。
4) 本会および所属団体、関係者に関する内部情報や未公開情報を許可なく発信しない。
5) 写真や動画を投稿する場合は、著作権や映り込む選手・スタッフ・観客等の肖像権およびプライバシーに配慮し、必要に応じて事前の承諾を得る。
6) 競技会場や宿泊先など、現在地が特定される投稿については、安全面に十分配慮し、リアルタイムでの発信を控える。
7) 差別、侮蔑、ハラスメントと受け取られ得る表現、ならびに社会的に不適切と評価される内容は、発信してはならない。

**3 肖像等使用について**

1) 本会は、日本代表活動に関わる肖像・画像・映像等（以下「肖像等」という。）の管理主体として、プロモーションおよび体操普及活動の目的で肖像等を使用できるものとし、対象者は原則としてこれに協力する。
2) 大会・イベントで本会または本会が委託した団体が撮影した映像・画像等の著作権は撮影元に帰属し、無断使用を禁止する。
3) 日本代表活動中は原則、本会のスポンサー契約を優先とする。
4) 肖像等の使用期間は、当該年度の日本代表発表日から次年度発表日までとし、引退後も当該期間に限り適用する。
5) 所属先が「日本代表として」の肖像等を利用する場合は、事前に本会へ申請し、本人の許諾を得る。
6) 本会スポンサー・大会スポンサー・オフィシャルサプライヤーが契約に基づき肖像等を利用するときは、本会の管理下で、所属先および本人の許諾を得て行う。
7) 広告・販促活動における肖像等使用の対価（有無および額）は、本会と所属先が協議のうえ決定する。

**4 イベント参加について**

1) 本会および加盟団体が主催・共催・主管・後援・協力しないイベント（以下「非公認イベント」という。）に参加する場合には、当該イベントの主催者等が反社会的勢力と関係を有していないことを確認したうえで参加すること。
2) 非公認イベントに参加する場合は、事前に本会へ報告し承認を得ること。
3) 競技活動に支障が生じぬよう、怪我やドーピング等に十分注意すること。
4) 本会または加盟団体が主催・共催する公式イベントと非公認イベントの日程が重なる場合は、公式イベントを優先すること。
5) 非公認イベントにおいて、日本代表の名称・ロゴ・ユニフォーム等を使用する場合は、本会の許可を得ること。

**5 違反と措置**

本ガイドラインおよび関連する規程等に違反した場合、または社会通念上不適切と判断される行為を行った場合は、本会倫理規程等に基づき、適正な手続きを経て措置を講じる。

**6 附則**

本ガイドラインは、本会「理念・使命・行動規範」、「日本代表選手・役員の心得」とともに制定する。

令和7年12月19日 制定
令和7年12月20日 施行

# 2025 年度登録に関する現状報告（登録改革経過報告）

公益財団法人日本体操協会
普及・地域・登録担当　遠藤幸一

標記の件，改めて2025年度より進められている登録改革の概要と本年度の現状報告をいたします。ご確認いただきますようお願い申し上げます。

**【主旨】**

世界の大舞台で結果を残し，体操関係者だけでなく多くの国民に夢と希望を届けてきた“体操ニッポン”ですが，残念ながらその勝利が普及や財源確保へと結びつかなくなっています。この現状を踏まえ，これまで競技者を中心とした取り組みを見直し，新たな層の掘り起こしをもう一つの柱として加えた登録改革を推し進めています（2025年4月開始）。

**【登録改革の概要】**

**1．これまでの登録区分を「年齢基本区分」＋「資格」へ変更**

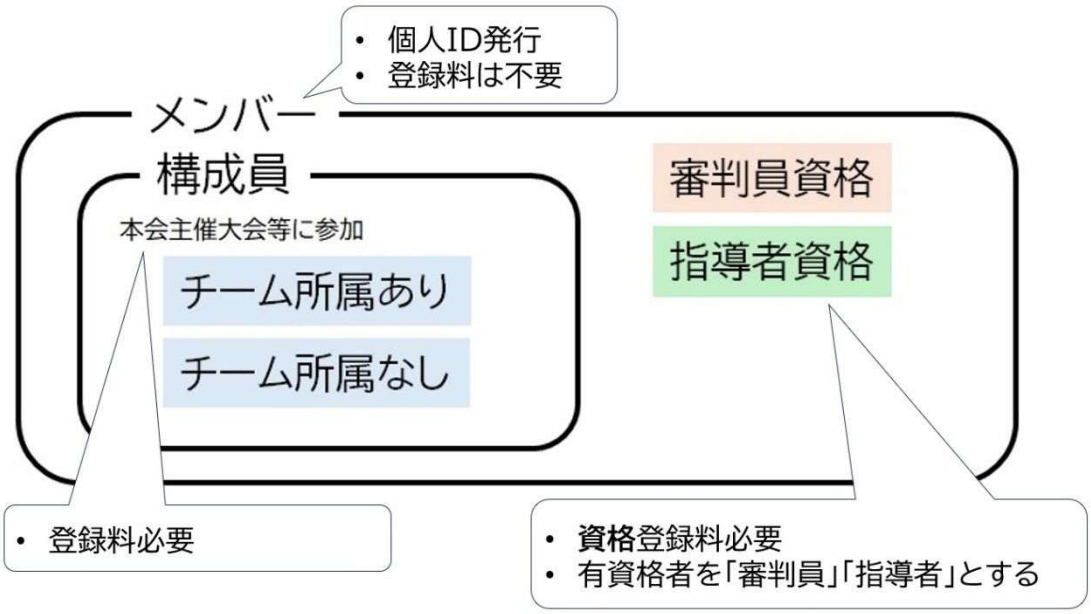
従来の登録区分は入口から体操関係者（選手，指導者等）になっていました。さらに誰でも選べば指導者として登録ができました。新しい登録制度では，まず，どのような立場でも年齢によって区分され，それらは「選手」「選手以外」に分かれます。ここで言う「選手」は，体操競技，新体操，トランポリン，パルクール，アクロ体操，エアロビックの競技会（本会の主催する大会に通じる競技会すべて）に出場する選手、**および日本体操祭や Japan Challenge への参加者**を指します。**前述の競技会や事業に選手や参加者として**出場しないそれ以外の指導者，審判員，役員などは「選手以外」となります。そして，指導者，審判員は「資格」を取得した人のみが公式に認められます。




**※指導者、審判員と呼べるのは資格取得者のみです。**

## 2. JGA-Web システムにおける登録者区分

2025年度から新しく利用している登録システムでは、「メンバー」と「構成員」の区分で管理できるようになりました。「メンバー」は、個人 ID が発行されますが、登録料はかかりません。ただし、本会主催の事業に参加するためには「構成員」になる必要があり、登録料が必要です。「構成員」は、本会主催事業に参加する場合、チームに所属することが基本となります。個人で活動しているとしても個人名でチームを設定し、登録する必要があります。一方で、都道府県協会の役員など、チームに所属していない方の登録も選択できるようになっています。また、指導者や審判員の資格のみを保持することも可能で、その場合、メンバーとして資格登録料を支払い資格を保有する選択ができます。




## 3. 登録料について

どのような立場でも年齢によって登録料が設定されました。

★登録料設定（年齢基本区分）※4月1日現在の年齢で判定

| 年齢基本区分 | 登録料 |
|---|---|
| 0～5 歳 | 0 |
| 6～11 歳 | 1,300 |
| 12～14 歳 | 1,300 |
| 15～17 歳 | 1,500 |
| 18～21 歳 | 2,500 |
| 22 歳以上 | 2,500 |

※「選手」「選手以外」のどちらの区分においても年齢による登録料は同額。

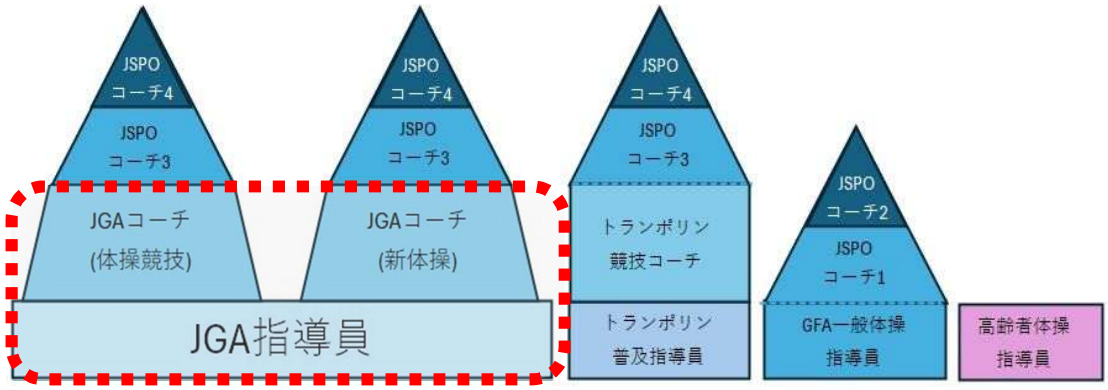
※体操競技、新体操、トランポリンのチームに所属している登録者は、表の登録料の中から300円がブロック費として回収される。

※2026年度より、15～17 歳の体操競技と新体操のチームに所属する「選手」区分は運営協力金として1人 1,000 円が上乗せされて回収される。

## 4. 指導者資格の見直し

トランポリンおよび GfA(旧一般体操)の指導者資格に加え、体操競技、新体操および、全体操種別に共通する指導者資格を新設しました(e ラーニング)。

■2025 年度からの指導者資格制度




◇e ラーニングによる資格

e ラーニング:オンデマンド講習の受講+テスト

受講資格:4 月 1 日時点 16 歳以上

無資格から取得可。4 か年度で失効。要再受講。

JGA 指導員のカリキュラム(4 科目 5 時間)
①安全管理・リスクマネジメント(1 時間)
②ハラスメント・コミュニケーション論・LGBT(2 時間)
③救急処置(1 時間)
④対象に応じた指導内容と指導技術(1 時間)

【JGA 指導員】

対象 :(原則として)体操全種別共通

競技会出場を主目的としない幅広い「体操」に取り組む人を対象とした指導を行う

※体操教室・部活動・地域スポーツ少年団・愛好家の指導

特典:有資格者対象の研修会参加, 競技会を除く体操事業参加者の帯同(検討中)

【JGA コーチ】

前述の JGA 指導員カリキュラム ＋ **種別(体操競技／新体操)の専門知識(4 科目 5 時間)**

対象:種別(体操競技・新体操)

競技会出場を主目的とした「体操競技」「新体操」に取り組む選手を対象とした指導を行う

U12・U15(全国中学)・インターハイ・全日本ジュニア・県内大会等

※資格取得義務化は 2030 年度全面導入(予定)

特典:有資格者対象の研修会(東西ブロック指導者研修会等)への参加(検討中)

**資格の義務化について**

現在

◇JSPO 公認コーチ 3 以上

体操競技・新体操・トランポリン「全日本選手権、NHK 杯、国民スポーツ大会」

◇トランポリン競技コーチ以上

上記以外のトランポリン競技大会

**2030 年度の各種別競技会から全面義務化(予定)**

## 5. 指導者資格登録料の見直し

| | 種別 | 主管 | 講習形式 | JSPO 初期登録 | JSPO 登録料 | JGA 資格別 | JGA 指導者資格 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| コーチ4 | 体操競技 | JSPO | 対面 | 3,300/1回 | 10,000/4年 | 10,000/4年 | |
| コーチ4 | 新体操 | JSPO | 対面 | 3,300/1回 | 10,000/4年 | 10,000/4年 | |
| コーチ4 | トランポリン | JSPO | 対面 | 3,300/1回 | 10,000/4年 | 10,000/4年 | |
| コーチ3 | 体操競技 | JSPO | 対面 | 3,300/1回 | 10,000/4年 | 10,000/4年 | |
| コーチ3 | 新体操 | JSPO | 対面 | 3,300/1回 | 10,000/4年 | 10,000/4年 | |
| コーチ3 | トランポリン | JSPO | 対面 | 3,300/1回 | 10,000/4年 | 10,000/4年 | |
| JGAコーチ | 体操競技 | JGA | eラーニング | | | | 10,000/4年 |
| JGAコーチ | 新体操 | JGA | eラーニング | | | | 10,000/4年 |
| 競技コーチ | トランポリン | JGA | 対面 | | | | 10,000/4年 |
| 普及指導員 | トランポリン | JGA | 対面 | | | | 10,000/4年 |
| コーチ2 | GfA | JSPO | 対面 | 3,300/1回 | 10,000/4年 | 10,000/4年 | |
| コーチ1 | GfA | JSPO | 対面 | 3,300/1回 | 10,000/4年 | 10,000/4年 | |
| 指導員 | GfA | JGA | 対面 | | | | 10,000/4年 |
| JGA指導員 | 全種別共通 | JGA | eラーニング | | | | 10,000/4年 |
| 高齢者体操指導員 | GfA | JGA/外部 | オンデマンド | | | | 10,000/4年 |

JSPO 公認コーチ資格を取得すると、JSPO の登録料（初期登録 3,300 円と登録料 10,000 円／4 年間）に加えて JGA 資格別登録料（10,000 円／4 年間）の支払いが必要です。JSPOシステムには各個人が登録しますが、JGA 登録システムへの反映は、年２回、JSPO の更新データを JGA 事務局員が行います（ただし、各個人で紐づけ確認作業が必要）。また，JGA 指導者としてのすべての資格登録料は、4 年分 10,000 円を納め、4 か年度分有効となります。

## 6. 資格取扱いについて

指導者資格と審判員資格は，認定講習会受講⇒合格（認定）⇒登録料の支払い完了（いつの年度から有効にするかは取得者自身が判断する）で当該資格を有効とします。資格の有効期間は、有効となった年度（4 月 1 日）が起点となります（高齢者体操指導員資格を除く）。指導者資格は 4 年間一括登録、審判員資格は従来通り、毎年度の登録申請となります。

なお、審判員登録料免除の規程があり、男子体操競技／女子体操競技／男子新体操／女子新体操／トランポリン（ダブルミニトランポリンを含む）については複数種類の資格を持っていても資格登録料は1種別分のみの金額となります（タンブリング 1～3 種，シャトル，パルクールはそれぞれに資格登録料が必要）。

## 7. 2025 年度の振り返り

今回の登録改革の短期目標として、現在の登録者における新しいシステムへの円滑な導入を掲げていました。いくつか課題はありましたが、旧システムからの情報の引継ぎと新システムへの移行はほぼ計画通りに進められたと評価しています。残された課題を解決しながら、中長期目標である「競技会」中心の事業から，全体操ファミリーが楽しみ，社会に貢献できる環境構築により、新しい層の登録者獲得の実現に向けて、各加盟団体や各所属団体のご理解、ご協力のほど、お願い申し上げます。

2025 年度全国代表者連絡会議資料
普及・地域・登録

参考資料

**資料1. 登録改革短中長期目標**

■短期目標

現状の登録者に対する改革の円滑な導入

・体操競技、新体操指導者資格の導入（e ラーニング導入）

・パルクール審判資格の導入

・新登録システムの円滑な導入（情報共有）業者・加盟団体

・改革に伴う規程改定の確認・整理

■中期目標

新規登録者の囲い込み

・新規事業と登録者の関係整理

・新規事業の企画・開催

・新規資格の企画・設置

・全国各地で開催されている事業の推薦・紹介

・登録者（所属団体等）へのサービス検討・実施

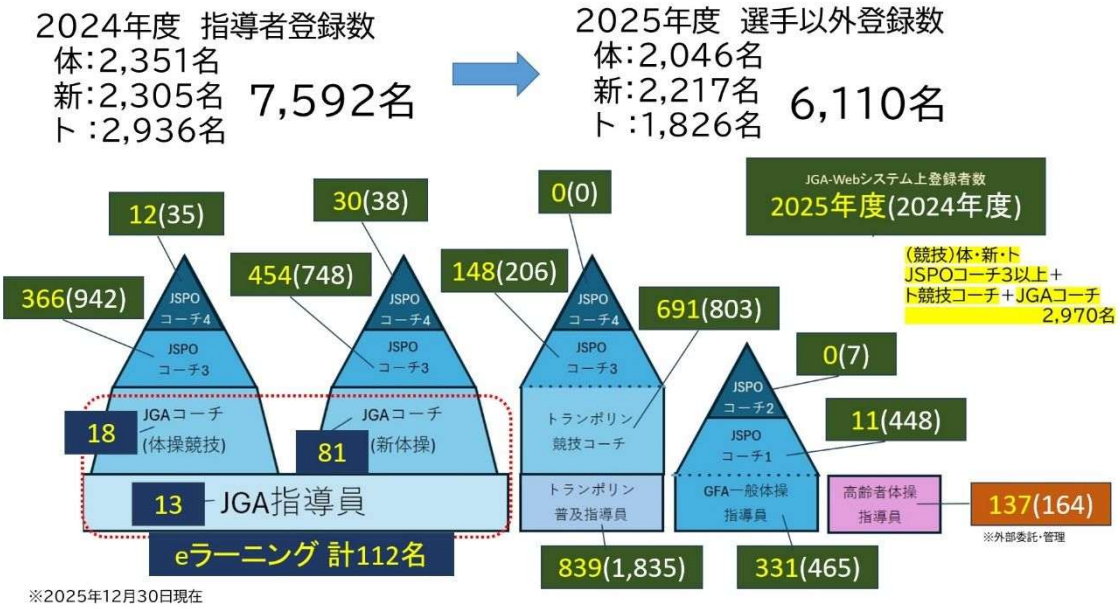
・登録者を活用した体操価値向上

■長期目標

新たな体操環境の創出

・開拓したステークホルダーを活用した「体操」による社会貢献

**資料2. 指導者数 （JGA-Web システム反映分） 2025 年 12 月 30 日現在**




※JSPO 公認コーチやトランポリン普及指導員の JGA-Web システムへの紐づけ未完了者が多い。

2025 年度全国代表者連絡会議資料
普及・地域・登録

**資料 3. 選手数　2026 年 1 月 3 日現在**

●体操競技, 新体操, トランポリン選手登録者数：　女子体操競技のみ増加

・選手

| | 男子 | 女子 | 合計 |
|---|---|---|---|
| 2024 | 7,416 | 17,464 | 24,880 |
| 2025 | 6,936 | 16,870 | 23,806 |
| | -480 | -594 | -1,074 |

体操競技

| 男子 | 女子 |
|---|---|
| 5,003 | 5,886 |
| 4,766 | 6,078 |
| -237 | 192 |

新体操

| 男子 | 女子 |
|---|---|
| 1,175 | 9,770 |
| 1,162 | 9,560 |
| -13 | -210 |

トランポリン

| 男子 | 女子 |
|---|---|
| 1,138 | 1,748 |
| 846 | 1,139 |
| -292 | -609 |

・体操競技

| 小学生 | | 中学生 | | 高校生 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 男子 | 女子 | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 |
| 1,360 | 2,371 | 875 | 1,345 | 1,392 | 1,495 |
| 1,198 | 2,296 | 908 | 1,473 | 1,397 | 1,661 |
| -162 | -75 | 33 | 128 | 5 | 166 |

| 大学生 | | 社会人 | |
|---|---|---|---|
| 男子 | 女子 | 男子 | 女子 |
| 789 | 476 | 587 | 199 |
| 812 | 494 | 449 | 150 |
| 23 | 18 | -138 | -49 |

●体操競技は, 小学生と社会人男女は減ったが, 他の年齢区分は男女とも増加。

## • 新体操

| 小学生 | | 中学生 | | 高校生 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 男子 | 女子 | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 |
| 266 | 4,328 | 319 | 3,067 | 429 | 1,980 |
| 286 | 4,145 | 314 | 3,132 | 394 | 1,890 |
| 20 | -183 | -5 | 65 | -35 | -90 |

| 大学生 | | 社会人 | |
|---|---|---|---|
| 男子 | 女子 | 男子 | 女子 |
| 107 | 343 | 54 | 52 |
| 123 | 356 | 45 | 28 |
| 16 | 13 | -9 | -24 |

●新体操は，小学女子，中学男子，高校男女，社会人男女は減ったが，他の年齢区分は増加。

## • 中体連登録

| 体操競技 | 男性 | 女性 | 合計 | 全登録 |
|---|---|---|---|---|
| 12歳 | 23 | 62 | 85 | 838 |
| 13歳 | 38 | 56 | 94 | 813 |
| 14歳 | 24 | 43 | 67 | 730 |
| 新体操 | 男性 | 女性 | 合計 | 全登録 |
| 12歳 | 22 | 99 | 121 | 1225 |
| 13歳 | 20 | 94 | 114 | 1169 |
| 14歳 | 17 | 71 | 88 | 1052 |

登録料0円

●中体連主催事業のみ参加選手（体操競技と新体操）の登録料は無料となるが，その登録者数は赤枠の通り。中体連以外の事業に参加する選手数は「全登録」に示した。現状，中学生年齢区分の選手は，中体連以外の事業にもほとんどが参加している（中体連の未登録者は 10%）。

## ・トランポリン

| 小学生 | | 中学生 | | 高校生 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 男子 | 女子 | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 |
| 370 | 552 | 200 | 321 | 99 | 204 |
| 262 | 409 | 186 | 289 | 112 | 183 |
| -108 | -143 | -14 | -32 | 13 | -21 |

| 大学生 | | 社会人 | |
|---|---|---|---|
| 男子 | 女子 | 男子 | 女子 |
| 130 | 151 | 339 | 518 |
| 103 | 99 | 183 | 158 |
| -27 | -52 | -156 | -360 |

| 男子 | 女子 |
|---|---|
| 1,138 | 1,748 |
| 846 | 1,139 |
| -292 | -609 |

普及指導員資格のみであれば
構成員登録が不要に

●トランポリンは，高校男子を除く年齢区分で減少。ただし，前年度までの登録システムにおいては，トランポリン登録合併の際にシステム改修が高額になるために見送り，複雑な運用で対応していた。特に社会人は，普及指導員資格を維持するため，その多くが選手兼指導者区分で登録したことにより実際の競技者以上の選手数が示されていた。今回，ようやく，全種別ともに同じシステムで登録者管理できるようになり，実態に近い数字に修正されたと推察している。

**資料 4. 審判員数　2025 年 12 月 30 日現在**

## ・審判員資格

| | 男子体操競技 | | | 女子体操競技 | | | 男子新体操 | | | 女子新体操 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 1種 | 2種 | 3種 | 1種 | 2種 | 3種 | 1種 | 2種 | 3種 | 1種 | 2種 | 3種 |
| 2024 | 2,005 | | | 2,212 | | | 468 | | | 3,066 | | |
| 2025 | 682 | 649 | 436 | 603 | 806 | 644 | 147 | 154 | 138 | 945 | 942 | 905 |
| | 1,767 | | | 2,053 | | | 439 | | | 2,792 | | |
| | -238 | | | -159 | | | -29 | | | -274 | | |

| | トランポリン | | | タンブリング | | | シャトル | パルクール |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 1種 | 2種 | 3種 | 1種 | 2種 | 3種 | | |
| 2024 | 855 | | | 67 | | | 239 | - |
| 2025 | 114 | 224 | 483 | 17 | 20 | 27 | 207 | 11 |
| | 821 | | | 64 | | | | |
| | -34 | | | -3 | | | -32 | |

●全種別で減少。採点競技として審判員確保は重要な課題。新規パルクールは 11 名が誕生。